

東京都立小石川中等教育学校 年間授業計画

教 科： 国語 科 目： 文学国語 単位数： 2 単位

対象学年組：第 5 学年 A 組～ D 組

使用教科書： (筑摩書房『文国708 文学国語』)

教科 国語 の目標：

【知 識 及 び 技 能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 文学国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	「バイリンガリズムの政治学」 【知識及び技能】 文学的な文章を読むことを通して我が国の言語文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める。 ・教材 教科書、最新国語便覧 ・一人1台端末の活用 必要に応じて端末を利用して意見共有などを行う。			○	【知識及び技能】 文学的な文章を読むことを通して我が国の言語文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	○	○	○	4
	「プラスチック膜を破って」 【知識及び技能】 文学的な文章を読むことを通して我が国の言語文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める。 ・教材 教科書、最新国語便覧 ・一人1台端末の活用 必要に応じて端末を利用して意見共有などを行う。			○	【知識及び技能】 文学的な文章を読むことを通して我が国の言語文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		○	○		1
	「山月記」 【知識及び技能】 文学的な文章を読むことを通して我が国の言語文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫する。 ・教材 教科書、最新国語便覧 ・一人1台端末の活用 必要に応じて端末を利用して意見共有などを行う。			○	【知識及び技能】 文学的な文章を読むことを通して我が国の言語文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫すること。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	○	○	○	9
	「神様」 【知識及び技能】 文学的な文章を読むことを通して我が国の言語文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫する。 ・教材 教科書、最新国語便覧 ・一人1台端末の活用 必要に応じて端末を利用して意見共有などを行う。			○	【知識及び技能】 文学的な文章を読むことを通して我が国の言語文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫すること。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	○	○	○	4

2 学 期	「死者の声を運ぶ小舟」 【知識及び技能】 文学的な文章を読むことを通して我が国の言語文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める。 ・教材 教科書、最新国語便覧 ・一人1台端末の活用 必要に応じて端末を利用して意見共有などを行う。			○	【知識及び技能】 文学的な文章を読むことを通して我が国の言語文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		○	○		1
	「陰翳礼讃」 【知識及び技能】 文学的な文章を読むことを通して我が国の言語文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める。 ・教材 教科書、最新国語便覧 ・一人1台端末の活用 必要に応じて端末を利用して意見共有などを行う。			○	【知識及び技能】 文学的な文章を読むことを通して我が国の言語文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	○	○	○	5
	「化物の進化」 【知識及び技能】 文学的な文章を読むことを通して我が国の言語文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察する。 ・教材 教科書、最新国語便覧 ・一人1台端末の活用 必要に応じて端末を利用して意見共有などを行う。			○	【知識及び技能】 文学的な文章を読むことを通して我が国の言語文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	○	○	○	5
	「こころ」 【知識及び技能】 文学的な文章を読むことを通して我が国の言語文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める。 ・教材 教科書、最新国語便覧 ・一人1台端末の活用 必要に応じて端末を利用して意見共有などを行う。			○	【知識及び技能】 文学的な文章を読むことを通して我が国の言語文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めること。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		○	○		1
	「ラムネ氏のこと」 【知識及び技能】 文学的な文章を読むことを通して我が国の言語文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えること。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える。 ・教材 教科書、最新国語便覧 ・一人1台端末の活用 必要に応じて端末を利用して意見共有などを行う。			○	【知識及び技能】 文学的な文章を読むことを通して我が国の言語文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えること。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	○	○	○	5

[illegible]

教 科： 国語 科 目： 古典探究（古文） 単位数： 2 単位
対象学年組：第 5 学年 A 組～ D 組
使用教科書：（ 筑摩書房『古探715 古典探究 古文編』）
教科 国語 の目標：

【学びに向かう力、人間性等】言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			語 文	書	読					
1 学 期	A 歌物語 【知識及び技能】 古典などを読むことを通して我が国の文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 ・教材 教科書、最新国語便覧 ・一人1台端末の活用 必要に応じて端末を利用して意見共有などを行う。				A 歌物語 【知識及び技能】 文学的な文章を読むことを通して我が国の言語文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				9
	B 随筆 【知識及び技能】 古典などを読むことを通して我が国の文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察する。 ・教材 教科書、最新国語便覧 ・一人1台端末の活用 必要に応じて端末を利用して意見共有などを行う。				B 随筆 【知識及び技能】 文学的な文章を読むことを通して我が国の言語文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				8
	定期考査				○ ○				○ ○	1
	C 歴史物語 【知識及び技能】 古典などを読むことを通して我が国の文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の作品や分掌を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 古典の作品や分掌を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりする。 ・教材 教科書、最新国語便覧 ・一人1台端末の活用 必要に応じて端末を利用して意見共有などを行う。				C 歴史物語 【知識及び技能】 古典などを読むことを通して我が国の文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の作品や分掌を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				9
	定期考査				○ ○				○ ○	1

2 学 期	D 軍記物語 【知識及び技能】 古典などを読むことを通して我が国の文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、古典徳風の用言に注意して内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 文章の種類を踏まえて、古典徳風の用言に注意して内容を的確に捉える。 ・教材 教科書、最新国語便覧 ・一人1台端末の活用 必要に応じて端末を利用して意見共有などを行う。				D 軍記物語 【知識及び技能】 古典などを読むことを通して我が国の文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、古典徳風の用言に注意して内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	○	○	○	9	
	定期考査			○	○			○	○		1
	E 日記 【知識及び技能】 古典などを読むことを通して我が国の文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価する。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価する。 ・教材 教科書、最新国語便覧 ・一人1台端末の活用 必要に応じて端末を利用して意見共有などを行う。				E 日記 【知識及び技能】 古典などを読むことを通して我が国の文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価する。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	○	○	○	9	
	F 歌論 【知識及び技能】 古典などを読むことを通して我が国の文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える。 ・教材 教科書、最新国語便覧 ・一人1台端末の活用 必要に応じて端末を利用して意見共有などを行う。				「実態の美と状況の美」 【知識及び技能】 文学的な文章を読むことを通して我が国の言語文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えること。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	○	○	○	6	
	G 和歌 【知識及び技能】 古典などを読むことを通して我が国の文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の作品や分掌に現れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する考えを広げたり深めたりする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 古典の作品や分掌に現れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する考えを広げたり深めたりする。 ・教材 教科書、最新国語便覧 ・一人1台端末の活用 必要に応じて端末を利用して意見共有などを行う。				G 和歌 【知識及び技能】 文学的な文章を読むことを通して我が国の言語文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の作品や分掌に現れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する考えを広げたり深めたりする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	○	○	○	4	
	定期考査			○	○			○	○		1

3 学 期	H 物語 【知識及び技能】 古典などを読むことを通して我が国の文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 関心を持った事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 関心を持った事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める。 ・教材 教科書、最新国語便覧 ・一人1台端末の活用 必要に応じて端末を利用して意見共有などを行う。				H 物語 【知識及び技能】 古典などを読むことを通して我が国の文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 関心を持った事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				19
	定期考査			○	○			○	○	1

東京都立小石川中等教育学校 年間授業計画

教科： 国語 科目： 古典探究（漢文） 単位数： 1 単位
対象学年組：第 5 学年 A 組～ D 組
使用教科書：（ 筑摩書房『古探716 古典探究 漢文編』 ）
教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
- 【学びに向かう力、人間性等】 言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 古典探究（漢文） の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・ 聞	書	読					
1 学 期	A 故事成語 【知識及び技能】 古典などを読むことを通して我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉える。 ・教材 教科書、最新国語便覧 ・一人1台端末の活用 必要に応じて端末を利用して意見共有などを行う。				A 故事成語 【知識及び技能】 古典などを読むことを通して我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉える。 ○ 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		○	○		1
	B 文章 【知識及び技能】 古典などを読むことを通して我が国の文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 必要に応じて書き手の考え方や目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価する。 ・教材 教科書、最新国語便覧 ・一人1台端末の活用 必要に応じて端末を利用して意見共有などを行う。	・指導事項 古典などを読むことを通して我が国の文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 必要に応じて書き手の考え方や目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価する。 ・教材 教科書、最新国語便覧 ・一人1台端末の活用 必要に応じて端末を利用して意見共有などを行う。				B 文章 【知識及び技能】 古典などを読むことを通して我が国の文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 必要に応じて書き手の考え方や目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価する。 ○ 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		○	○		1

2 学 期	C 史伝 【知識及び技能】 古典などを読むことを通して我が国の文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりする。 ・教材 教科書、最新国語便覧 ・一人1台端末の活用 必要に応じて端末を利用して意見共有などを行う。				C 史伝 【知識及び技能】 古典などを読むことを通して我が国の文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		○	○		1
	D 漢詩 【知識及び技能】 古典などを読むことを通して我が国の文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりする。 ・教材 教科書、最新国語便覧 ・一人1台端末の活用 必要に応じて端末を利用して意見共有などを行う。				D 漢詩 【知識及び技能】 古典などを読むことを通して我が国の文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	○	○	○	3
	E 小説 【知識及び技能】 古典などを読むことを通して我が国の文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 ・教材 教科書、最新国語便覧 ・一人1台端末の活用 必要に応じて端末を利用して意見共有などを行う。				E 小説 【知識及び技能】 古典などを読むことを通して我が国の文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	○		○	3
	定期考査			○	○		○	○		1

[illegible]

中等教育学校 令和7年度(5学年用) 教科 地理歴史 科目 日本史探究

教科： 地理歴史 科目： 日本史探究 単位数： 2 単位

対象学年組：第 5 学年 A 組～ D 組

使用教科書：（ 「詳説日本史－日本史探究」山川出版社 ）

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】日本及び世界の地域的特色や歴史に関して理解し、様々な情報を適切に調査し整理する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる情報を多面的に分析・考察し、諸事象の解決について考察・議論する力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】世界の多様性を尊重し、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

科目 日本史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	「日本前近代史概観」 ・世界史および日本史の大きな枠組みと流れを理解させたうえで、今日の我が国のあり方に大きな影響を与えた近世後期から近代前期への画期における、列強接近の背景を理解し、幕府の対応とその影響について考察する。	・欧米列強のアジア接近の背景 ・ロシアの南下と日本人の国境意識の発現 ・経世学と前例踏襲主義の対立 ・武力衝突期と異国船打払令の発令期との時差 ・入試問題に込められた、大学のアドミッションポリシー解説 ●「旧国名」確認シート完成	【知識・技能】 列強の接近にともなう事件や幕政改革に関する諸資料から情報を読み取り、幕府の対応の在り方を理解する。 【思考・判断・表現】 国際情勢の変化に着目し、幕府政治の動揺について多面的・多角的に考察し、根拠を明らかに表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 外交政策の転換などについて、幕府や諸藩の課題を見出し、主体的に追究しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	「開国と幕末の動乱」 「幕府滅亡と新政府の発足」 ・列強の動向を背景とする幕府の威信低下と雄藩台頭、天皇中心の統一国家構想の芽生えから幕府滅亡、旧幕勢力一掃までの経過の理解を基盤に、近世から近代への変化について考察し、時代を通観する問いを表現する。	・雄藩台頭の経済的・軍事的背景 ・開国に対する多角的考察 ・薩摩・英国の対立と友好 ・五箇条誓文の成立過程と背景となる理念 ●「六十干支」確認シート完成	【知識・技能】 列強とアジア諸国の関係変化を諸資料から読み取ると共に、幕藩体制崩壊と新政権成立について理解している。 【思考・判断・表現】 国内外における諸課題を踏まえ、政治・経済などの変化を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 国際的な視点から開国を考察し、その政治的・経済的・社会的影響について主体的に追究しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
2 学 期	「明治維新と近代化施策」 ・明治政府の制度改革や殖産興業・富国強兵政策に着目して、政治・産業・軍事面での変革を理解する。一方、近代化政策に対する士族反乱・農民一揆の発生、言論闘争への転換過程を考察する。 ・明治初期の対外政策について、欧米への対応とアジアに対する外交政策の違いについて考察する。	・中央集権化＝国家統一が国力伸長にもたらす意義 ・「後発国の利点」とは何か ・近世後期から高かった識字率 ・欧米との条約、アジア諸国との条約、その意味合いの違い ●「アジアにおける国家間関係」確認シート完成	【知識・技能】 中央集権化と士族反乱、欧米・アジアとの関係、文明開化について、諸資料から情報を読み取り理解している。 【思考・判断・表現】 諸改革が地域社会に与えた変化、条約の内容比較、欧米文化の影響を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 明治維新や文明開化の風潮が展開する中で生じた様々な課題や、歴史の展開における画期についての課題を見出し、主体的に追究しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	「立憲国家の成立」 ・政府の強力な中央集権体制への志向のもとで、旧支配層(士族)・被支配層(平民)に広まった不満に着目し、自由民権運動から立憲国家成立に至る間、近代国家の基盤が形成されていく過程を考察する。 ・制定過程を示す諸資料や憲法条文から大日本帝国憲法の性格について理解し、この件が有する課題について多角的に考察する。	・「明治6年政変」および「明治14年政変」の背景と自由民権運動への影響 ・「ドイツ憲法」との共通点・相違点 ・日本の金融・貨幣制度に対する欧米の信頼度向上 ・初期議会における薩長藩閥勢力の対応変化 ●「憲法比較」シート完成	【知識・技能】 諸資料から読み取れる地域社会の変化に着目して、自由民権運動の展開や大日本帝国憲法の制定と議会開設に至る過程を理解している。 【思考・判断・表現】 国内体制を欧米の水準に引き上げることが改革の前提にあったことを踏まえ、社会構造の変化や地方自治の展開について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 自由民権運動の展開過程を考察したうえで、日本における立憲政治の導入がもたらした課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1

3 学 期	「日清・日露戦争と国際関係」 ・東アジアをめぐる国際環境が変容する中で、国家的課題であった不平等条約の改正交渉が進展した過程や、朝鮮問題から日清戦争に至る経緯について理解する。 ・日露開戦に至る国際関係や戦争の経過、戦後の日本の国際的地位の変化と植民地支配の推進について、諸外国の動向と関連づけて考察する。	・法典・裁判などの制度整備と条約改正 ・シベリア鉄道起工の地政学上の意義 ・日清戦争勝利と綿産業振興の関係 ・「総力戦」の定義と継続能力の意義 ・帝国主義国にとっての「平和」 ●「日露戦争に向けた戦略」シート完成	【知識・技能】 日清・日露戦争前後の条約改正交渉、韓国併合や満洲への勢力拡張などの諸資料から情報を読み取り、両戦争の様相や背景、日本の国際的地位の変化を理解している。 【思考・判断・表現】 主戦論と反戦論が存在したこと、戦争が国民としての自覚や意識の高まりをもたらしたことについて多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 対外的な戦争が日本の近代化の過程の中でもつ意味を考察し、主体的に追究しようとしている。	○	○	○	19
	定期考査			○	○		1
							合計 78

東京都立小石川中等教育学校 年間授業計画

教 科： 地理歴史 科 目： 世界史探究 単位数： 2 単位

対象学年組：第 5 学年 A 組～ D 組

使用教科書：（ 「世界史探究」東京書籍 ）

教科 地理歴史 の目標：

【知 識 及 び 技 能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史に関して理解し、様々な情報を適切に調査し整理する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる情報を多面的に分析・考察し、諸事象の解決について考察・議論する力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】 世界の多様性を尊重し、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

科目	世界史探究	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身に付ける。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、他国や他国の歴史・文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	「文明の誕生/古代オリエント文明」 ●農耕・牧畜の人類史における意義を理解する。また、自然環境と人間の生活や文化との関係性を考察し、表現する。 ●古代オリエントでおこった諸文明の歴史的特質を理解するとともに、身分や階級、王権や宗教について課題を設定し、考察、表現する。	【使用教材・指導事項など】 ●「世界史探究」東京書籍、最新世界史図説タベストリー（帝国書院） ●リアクションペーパー ●世界史探究シート ●ディスカッション ●一人一台端末の活用	【知識・技能】 農耕・牧畜の人類史における意義や、古代オリエントの諸文明の歴史について理解することができた。 【思考・判断・表現】／【主体的に学習に取り組む態度】 リアクションペーパーや探究シートの記入・提出、ディスカッションなどの活動から総合的に評価する。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	「西アジアの国家形成」 ●西アジアにおけるイラン諸国家とその文明を理解し、社会、宗教、文化・思想の面でどのような特徴をもっていたか、諸資料を読み解き、多面的・多角的に考察し、表現することができる。	【使用教材・指導事項など】 ●「世界史探究」東京書籍、最新世界史図説タベストリー（帝国書院） ●リアクションペーパー ●世界史探究シート ●ディスカッション ●一人一台端末の活用	【知識・技能】 西アジアの国家形成について、アケメネス朝ペルシアやササン朝ペルシアなどの事象を通して理解することができた。 【思考・判断・表現】／【主体的に学習に取り組む態度】 リアクションペーパーや探究シートの記入・提出、ディスカッションなどの活動から総合的に評価する。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
2 学 期	「地中海周辺の国家形成」 ●地中海東部に生まれた人間中心のギリシア文化が広く西アジアまで展開したことを理解する。また、それを継承したローマが地中海の周辺諸地域を征服し、キリスト教を基盤とした大帝国内を建設したことを考察し、表現することができる。その際、西アジアと地中海周辺の一体性にも気づくことができる。	【使用教材・指導事項など】 ●「世界史探究」東京書籍、最新世界史図説タベストリー（帝国書院） ●リアクションペーパー ●世界史探究シート ●ディスカッション ●一人一台端末の活用	【知識・技能】 地中海周辺の国家形成について、アテネやスパルタなどギリシア諸ボリスの興亡、ローマ帝国の盛衰などの事象を通して理解することができた。 【思考・判断・表現】／【主体的に学習に取り組む態度】 リアクションペーパーや探究シートの記入・提出、ディスカッションなどの活動から総合的に評価する。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	「ヨーロッパ世界の変容と展開」 ●ローマ=カトリック教会の普遍的権威のもとにあった中世ヨーロッパの政治や社会が、十字軍の遠征をきっかけにどのように変容したのかを理解することができる。 ●西ヨーロッパと連動して、ロシア・東欧も独自の道を歩んでいったことを理解することができる。 ●中世の西ヨーロッパの文化について、その特徴を理解しつつ、後世に与えた影響を多面的・多角的に考察し、表現することができる。	【使用教材・指導事項など】 ●「世界史探究」東京書籍、最新世界史図説タベストリー（帝国書院） ●リアクションペーパー ●世界史探究シート ●ディスカッション ●一人一台端末の活用	【知識・技能】 中世ヨーロッパ世界の展開と変容について、ローマ=カトリック教会、十字軍、ビザンツ帝国や中世ヨーロッパ文化などの様々な視点から多角的・多面的に理解することができた。 【思考・判断・表現】／【主体的に学習に取り組む態度】 リアクションペーパーや探究シートの記入・提出、ディスカッションなどの活動から総合的に評価する。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
3 学 期	「近世ヨーロッパ世界の動向」 ●ヨーロッパの海外進出について、その動機や背景、経緯を理解し、それが諸地域にもたらした影響を多面的・多角的に考察することができる。 ●ルネサンスの特徴や宗教改革の経緯を理解し、それらが後世に与えた影響について多面的・多角的に考察することができる。	【使用教材・指導事項など】 ●「世界史探究」東京書籍、最新世界史図説タベストリー（帝国書院） ●リアクションペーパー ●世界史探究シート ●ディスカッション ●一人一台端末の活用	【知識・技能】 大航海時代やルネサンス、宗教改革について、諸資料を活用して考察を深め、近世ヨーロッパ世界の成立過程について多面的・多角的に理解することができた。 【思考・判断・表現】／【主体的に学習に取り組む態度】 リアクションペーパーや探究シートの記入・提出、ディスカッションなどの活動から総合的に評価する。	○	○	○	19
	定期考査						1
							合計
							78

年間授業計画

高等学校 令和7年度（5学年用） 教科 公民 科目 倫理

教科：公民 科目：倫理

単位数：1 単位

対象学年組：第5学年 A組～D組

使用教科書：（東京書籍「倫理」）

教科 公民科 の目標：

【知識及び技能】社会を築き上げる公民として倫理、政治、経済などに関わる幅広い知識、教養を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】現代の諸課題を多面的・批判的に思考したり、社会参画を視野に議論する力などを養う。

【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

科目 倫理 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
哲学・思想を学ぶことで、社会を築き上げる公民として幅広い知識・教養を身に付ける。	哲学・思想を学ぶことで、社会を築き上げる公民として諸課題に対する批判的思考力、判断力等を身に付ける。	哲学・思想を学ぶことで、社会を築き上げる公民として主体的に社会的課題に取り組む態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	現代的状況の始まり 19世紀、産業革命以降の科学技術と資本主義の発達に伴い現代的な問題が発生したことを理解する。	時代背景、現代社会の問題点、社会主義、実存主義、プラグマティズムの概要	【知識・技能】 現代的問題が発生した原因等についての知識が身に付いている 【思考・判断・表現】 上記の知識を使って思考、判断することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 授業、課題に対して積極的に取り組んでいる	○	○	○	3
	社会主義 現代的問題の社会的解決を目指して社会主義が登場したことを理解する。 マルクス主義国家が20世紀の政治の一大勢力となったことを理解する。 中間考査はなし	空想的社会主義（オーウェン、サンシモン、フーリエ） マルクス主義 社会民主主義（フェビアン協会、ベルンシュタイン）	【知識・技能】 社会主義の特色についての知識が身に付いている 【思考・判断・表現】 上記の知識を使って思考、判断することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 授業、課題に対して積極的に取り組んでいる	○	○	○	4
	現代の学問的状況 19世紀末から20世紀初頭にかけて、学問的状況の転換があり、哲学・思想の面でも現代思想の萌芽があったことを理解する。	実証主義（コント、スベンサー）生の哲学（ベルクソン） 現象学（フッサール、メルロ＝ポンティ）	【知識・技能】 現象学や生の哲学の特色についての知識が身に付いている 【思考・判断・表現】 上記の知識を使って思考、判断することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 授業、課題に対して積極的に取り組んでいる	○	○	○	3
	実存主義 現代の問題に関して個々人の生き方を問直す思想として実存主義が登場したことを理解する。	実存主義の先駆（キルケゴール、ニーチェ）	【知識・技能】 実存主義のの特色についての知識が身に付いている 【思考・判断・表現】 上記の知識を使って思考、判断することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 授業、課題に対して積極的に取り組んでいる	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
2 学 期	実存主義 現代の問題に関して個々人の生き方を問直す思想として実存主義が登場したことを理解する。	20世紀の実存主義（ハイデガー、ヤスパーズ、サルトル）	【知識・技能】 20世紀の実存主義についての知識が身に付いている 【思考・判断・表現】 上記の知識を使って思考、判断することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 授業、課題に対して積極的に取り組んでいる	○	○	○	5
	中間考査はなし						
	プラグマティズム 資本主義の発達したアメリカで登場した技術的思考としてのプラグマティズムについて理解する。	プラグマティズム（パース、ジェームズ、デューイ）	【知識・技能】 プラグマティズムについての知識が身に付いている 【思考・判断・表現】 上記の知識を使って思考、判断することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 授業、課題に対して積極的に取り組んでいる	○	○	○	5
	言語論的転回 言語論的転回のなかで盛んとなった構造主義および分析哲学について理解する	分析哲学（ウィトゲンシュタイン、ラッセル、記号論理学、クーン） 構造主義（ソシュール、レヴィ＝ストロース、フーコー）	【知識・技能】 分析哲学や構造主義についての知識が身に付いている 【思考・判断・表現】 上記の知識を使って思考、判断することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 授業、課題に対して積極的に取り組んでいる	○	○	○	4
3 学 期	定期考査			○	○		1
	20世紀後半の思想 アウシュヴィッツ体験を経て新たに人間性を問う思想が登場したことについて理解する。 科学および政治経済と倫理のつながりについて理解する	フランクフルト学派、レヴィナス、アーレント、デリダ、ドゥルーズ、 ポパー、クワイン、ロールズ、セン	【知識・技能】 20世紀後半の思想についての知識を身に付け、それぞれの考え方の特徴について理解する 【思考・判断・表現】 上記の知識を使って思考、判断することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 授業、課題に対して積極的に取り組んでいる	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
							合計 39

東京都立小石川中等教育学校 年間授業計画

单位数： 3 单位

使用教科書：（ 数学Ⅱ（104 数研 数Ⅱ 709）

教科	数学	の目標：	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。
----	----	------	---

【知 識 及 び 技 能】 数字における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数値化したり、数値的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目	数学Ⅱ	の目標：	基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。
----	-----	------	--

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
【知識及び技能】 式と証明、複素数と方程式、図形と方程式、三角関数、指数関数と対数関数及び微分法についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 実数の性質や等式・不等式の性質などを基に、等式や不等式が成り立つことを論理的に考察し証明する力、式の計算の方法を既に学習した数や式の計算と関連付け多面的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、それを方程式を用いて表現し、図形の性質や位置関係について考察する力、三角関数・指数関数・対数関数の式とグラフの関係について多面的に考察する力、関数とその導関数との関係について考察する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考	数学Ⅱの既習内容について、講義および問題演習を通して、基本的な原理の理解につとめる。	【知識・技能】 数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な思考や判断ができています。 【主体的に学習に取り組む態度】 数学の論理や体系に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとしている。	○	○	○	4
			○	○		1
【知識及び技能】 ・不定積分及び定積分の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の不定積分や定積分の値を求めること。 ・定積分を利用して、いろいろな曲線で囲まれた図形の面積や立体の体積を求めること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・微分と積分の関係に着目し、積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積や体積を求める方法について考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養うこと。	《数学Ⅱ》 第6章 微分法と積分法 第3節 積分法 8. 定積分 9. 面積	【知識・技能】 ・定積分の定義や性質を理解し、それを利用する定積分の計算方法を理解している。 ・定積分は定数であることを理解し、それを利用して、定積分を含む関数を求めることができる。 ・上端が変数xである定積分で表された関数を微分して処理することができる。 ・直線や曲線で囲まれた部分の面積を、定積分で表して求めることができる。 ・上下関係が入れ替わる2曲線で囲まれた面積を求めることができる。 ・絶対値のついた関数の定積分の計算方法を理解している。 ・3次関数のグラフとその接線で囲まれた部分の面積を求めることができる。 ・立体の断面積を積分することで体積が求められることを理解し、体積を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・定積分が、図形の計量に関して有用であることを認識することができる。 ・定積分の計算で、分数計算を容易にするための工夫を考察することができる。 ・上端がxである定積分を、xの関数ととらえて問題を解決することができる。 ・面積を求める際には、グラフの上下関係、積分範囲などを、図をかくて考察することができる。 ・放物線と直線の交点の座標が複雑な値であるとき、放物線と直線で囲まれた部分の面積を、定積分の公式を利用するなどして、工夫して求める方法を考察することができる。 ・微分や定積分の計算で、$\left[(x+a)^n \right]'$ の導関数や不定積分の公式を利用するなどして、計算を工夫して行う方法を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・直線や曲線で囲まれた部分の面積を、定積分を用いて求めようとする。 ・微分や定積分の計算で、$\left[(x+a)^n \right]'$ の導関数や不定積分の公式を利用するなどして、計算を工夫して行う方法を考察することができる。 ・微分積分学の基本定理について、興味・関心を持ち、考察しようとする。	○	○	○	8

【知識及び技能】 ・簡単な分数関数と無理関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。 ・合成関数や逆関数の意味を理解し、簡単な場合についてそれらを求めること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・既に学習した関数の性質と関連付けて、簡単な分数関数と無理関数のグラフの特徴を多面的に考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養うこと。	関数の発展的内容 1. 分数関数 2. 無理関数 3. 逆関数と合成関数	【知識・技能】 ・分数関数の定義について理解し、関数を適切に変形して、そのグラフをかくことができる。 ・分数関数のグラフと直線の共有点の座標が求められる。 ・無理関数の定義について理解し、関数を適切に変形して、そのグラフをかくことができる。また、値域が求められる。 ・無理関数のグラフと直線の共有点の座標が求められる。 ・無理不等式を解くことができる。 ・分数不等式を解くことができる。 ・逆関数の定義を理解し、種々の関数の逆関数を求められる。 ・$b=f(a)$と$a=f^{-1}(b)$が同値であることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・分数関数のグラフと直線の共有点の座標を、連立方程式の実数解に読み替えて考察できる。 ・分数不等式の解を、分数関数のグラフと直線の上下関係に読み替えて考察できる。 ・無理関数$y=\sqrt{ax}$のグラフを放物線の一部として理解し、対称移動の考え方で$y=-\sqrt{ax}$などのグラフを考察できる。 ・無理関数のグラフと直線の共有点の座標を、連立方程式の実数解に読み替えて考察できる。 ・無理不等式の解を、無理関数のグラフと直線の上下関係に読み替えて考察できる。 ・逆関数の定義から、逆関数の定義域・値域や性質を考察できる。 ・2つの関数を続けて作用させた関数を、合成関数という1つの関数として考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・方程式や不等式の考察に、積極的に関数のグラフを活用しようとする。 ・方程式の同値変形について考察し、理解を深めようとする。 ・方程式や不等式の考察に、積極的に関数のグラフを活用しようとする。	○	○	○	6
---	---	--	---	---	---	---

【知識及び技能】 ・数列の極限について理解し，数列 $\{r_n\}$ の極限などを基に簡単な数列の極限を求めること。 ・無限級数の収束，発散について理解し，無限等比級数などの簡単な無限級数の和を求めること。 ・簡単な分数関数と無理関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。 ・合成関数や逆関数の意味を理解し，簡単な場合についてそれらを求めること。 ・関数の値の極限について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりして，極限を求める方法を考察すること。 ・既に学習した関数の性質と関連付けて，簡単な分数関数と無理関数のグラフの特徴を多面的に考察すること。 ・数列や関数の値の極限に着目し，事象を数学的に捉え，コンピュータなどの情報機器を用いて極限を調べるなどして，問題を解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養うこと。	関数の発展的内容 数列の極限 1. 数列の極限 2. 無限等比級数 3. 無限級数 4. 関数の極限 5. 三角関数と極限 6. 関数の連続性	【知識・技能】 ・数列の収束，発散について，記号や用語を正しく理解している。 ・収束する数列の極限値の性質を理解し，それを用いて，数列の極限が求められる。 ・不定形を解消するように数列の式を変形することにより，数列の収束，発散を調べることができる。 ・無限等比数列の極限が求められる。また，無限等比数列の収束・発散を利用して，さまざまな数列の極限が求められる。 ・無限等比数列の収束条件を理解し，それを利用できる。 ・漸化式で表された数列の一般項を求め，その極限値が求められる。 ・無限級数の和とは，部分和の作る数列の極限であることを理解し，無限級数の収束，発散をその部分和から調べられる。 ・無限等比級数の収束，発散を，公比の値で調べられる。また，無限等比級数の収束条件を理解し，それを利用できる。 ・無限級数の和の性質について理解し，それを用いて無限級数の和が求められる。 ・無限級数の収束，発散を判定する条件を理解し，それを利用できる。 ・関数の極限に関する用語・記号を正しく理解し，$x \rightarrow a$ や $x \rightarrow \infty$，$x \rightarrow -\infty$ のときの関数の極限を求めることができる。 ・不定形を解消するように関数の式を変形することにより，関数の極限を調べることができる。 ・関数の右側極限，左側極限を調べ，関数の極限の有無について調べられる。 ・指数関数，対数関数の極限が求められる。 【思考・判断・表現】 ・工夫して式変形することにより，数列の極限を求めることができる。 ・数列の極限が簡単に求められない場合に，数列の極限の大小関係（はさみうちの原理）を用いて，極限が求められる。 ・無限等比数列の極限を，公比の値で場合分けして考察できる。 ・漸化式で表された数列の項の決まり方を，グラフを利用して視覚化することで，極限を考察できる。 ・無限等比級数の収束，発散を，既習である等比数列の和の極限を調べることで考察できる。 ・繰り返しを含む図形的な問題を，無限等比級数を活用して考察することができる。 ・循環小数が無限等比級数の形に表されることを理解し，無限等比級数の考えを用いて，循環小数を分数で表すことができる。 ・関数の極限について，数列の極限における考え方の類似点と相違点を理解している。 ・関数の極限について，グラフなどで直観的に考察できる。 ・極限値をもつ関数の係数決定に関しては，等式を成り立たせるための必要条件を求めて，その十分性をチェックすることで関数の式の係数を決定することができることを理解している。 ・関数の極限が簡単に求められない場合に，関数の極限の大小関係（はさみうちの原理）を用いて，極限が求められる。 ・三角関数の極限を応用して，図形的な問題を考察することができる。 ・中間値の定理が成り立つための条件を正しく理解し，解の存在の証明に活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・簡単な無限数列の極限を，グラフなどで直観的に考察しようとする。 ・漸化式で表された数列の極限をグラフで視覚化する方法に，興味，関心をもつ。 ・「項を無限に加える」ということを，数学的に定義する方法を理解しようとする。 ・繰り返しを含む図形的な問題に興味をもち，無限等比級数を利用して考察しようとする。 ・関数の極限を，グラフなどで直観的に考察しようとする。	○	○	○	22
定期考査			○	○	○	2

【知識及び技能】 ・微分可能性、関数の積及び商の導関数について理解し、関数の和、差、積及び商の導関数を求めること。 ・合成関数の導関数について理解し、それを求めること。 ・三角関数、指数関数及び対数関数の導関数について理解し、それらを求めること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・導関数の定義に基づき、三角関数、指数関数及び対数関数の導関数を考察すること。 ・関数の連続性と微分可能性、関数とその導関数や第二次導関数の関係について考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養うこと。	微分法の発展的内容 1. 微分係数と導関数 2. 導関数の計算 3. いろいろな関数の導関数 4. 第n次導関数 5. 関数のいろいろな表し方と導関数	【知識・技能】 ・微分係数の定義と、その図形的意味を理解している。 ・微分可能性と連続性の関係を理解し、連続ではあるが微分可能でないことを示せる。 ・導関数の定義を理解し、定義に基づいて微分できる。 ・導関数の性質、積の導関数、商の導関数、合成関数の微分法、逆関数の微分法を利用して、種々の導関数を求めることができる。 ・三角関数、対数関数、指数関数の導関数を理解し、三角関数、対数関数、指数関数を含む種々の関数の導関数を求めることができる。 ・aが実数のとき、$(x^a)^\prime = ax^{a-1}$が成立することを理解している。 ・対数微分法を利用して、複雑な関数を微分できる。 ・第n次導関数の定義とその表現方法を理解し、種々の関数の第n次関数が求められる。 ・方程式$F(x, y) = 0$を関数とみて、合成関数の導関数を利用して微分できる。 ・曲線の媒介変数表示を理解し、媒介変数で表された関数の導関数が求められる。 【思考・判断・表現】 ・微分係数の2通りの表し方を理解し、その図形的意味を考察できる。 ・導関数を、微分係数から得られる新しい関数として理解することができる。 ・導関数の性質、積の導関数、商の導関数、合成関数の微分法、逆関数の微分法を定義に基づいて証明できる。 ・三角関数、対数関数、指数関数を含む関数を合成関数とみて、合成関数の微分法を利用することができる。 ・自然対数の底eを考える必然性を理解している。 ・第2次導関数、第3次導関数を求めることで、一般の第n次導関数を予想し、求めることができる。 ・方程式$F(x, y) = 0$を陰関数とみる考え方を理解している。 ・1つの曲線がいろいろな式で表されることを理解し、その導関数について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・微分係数の図形的意味を考察しようとする。 ・微分可能性と連続性の関係について、興味、関心	○	○	○	20
--	---	---	---	---	---	----

2 学 期	【知識及び技能】 ・導関数を用いて、いろいろな曲線の接線の方程式を求めたり、いろいろな関数の値の増減、極大・極小、グラフの凹凸などを調べグラフの概形をいかたりすること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・関数の局所的な変化や大域的な変化に着目し、事象を数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養うこと。	微分法の発展的内容 接線と法線 1. 接線と法線 2. 平均値の定理 3. 関数の値の変化 4. 関数の最大と最小 5. 関数のグラフ 6. 方程式、不等式への応用 7. 速度と加速度 8. 近似式	【知識・技能】 ・微分係数の意味を理解しており、接線の方程式が求められる。 ・公式を利用して、法線の方程式が求められる。 ・$F(x, y) = 0$で表された曲線の接線の方程式を、陰関数の微分法を利用して求められる。 ・平均値の定理と、その図形的意味を理解し、具体的にcの値を求めることができる。 ・導関数の符号と関数の増減の関係を理解し、導関数を利用して関数の増減や極値が調べられる。 ・$f(x)$が$x=a$で微分不可能な場合にも、増減表から$f(a)$が極値になるかどうかを判定できる。 ・関数の極値に関する条件から、関数を決定することができる。 ・導関数を利用して増減表をかくことができ、関数の最大値・最小値が求められる。 ・曲線の凹凸の定義を理解し、第2次導関数の符号で曲線の凹凸が判定できる。また変曲点が求められる。 ・導関数、第2次導関数を利用して、増減、凹凸、変曲点、漸近線などを調べて関数のグラフをかくことができる。 ・第2次導関数を利用し、増減表をかかなくても極値が求められる。 ・導関数を利用して、不等式の証明問題、方程式の実数解の個数問題を解くことができる。 ・ベクトルの成分を微分することによって、速度ベクトル、加速度ベクトルが求められることを理解し、実際に求めることができる。 ・等速円運動、角速度の定義を理解し、等速円運動をしている点の速度、加速度の関係を調べられる。 ・微分係数の意味を考えることで、関数の近似式を考察できる。 ・関数の1次の近似式を作ることができる。 【思考・判断・表現】 ・接線に直交する条件と、直線の方程式の公式から、法線の方程式の公式を考えることができる。 ・曲線外の定点Cから曲線に接線を引くとき、接点Aにおける接線が点Cを通ると読み替えて、接線の方程式を求めることができる。 ・共通な接線をもつ条件を理解し、問題の解決に利用できる。 ・平均値の定理を利用して、不等式を証明できる。 ・平均値の定理を利用して導関数の符号と関数の増減の関係を証明する方法を理解している。 ・$f'(a) = 0$は、$f(a)$が極値であるための必要条件ではあるが、十分条件ではないことを理解している。 ・関数の極値に関する条件から関数を決定する際に、必要十分条件に注意している。 ・最大・最小の応用問題で、変数のとり方、定義域に注意している。 ・関数の定義されていないところや、$x \rightarrow \pm\infty$のときの状態を調べて、関数のグラフをかくことができる。 ・不等式を、関数の値に関する条件式に読み替えて考察できる。 ・方程式の実数解の個数を、関数のグラフとx軸に平行な直線との共有点の個数に読み替えて考察できる。 ・導関数の意味から、点の位置を表す関数の導関数が点の速度、第2次導関数が点の加速度を表すことを理解できる。 ・速度、加速度を調べることで、等速円運動やサイクロイド運動の特徴を考察できる。 ・関数の近似式を活用して、数の近似値を求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・方程式の重解と微分の関係についての証明に関心をもち、考察しようとする。 ・平均値の定理に興味をもち、図形的意味を考察しようとする。 ・平均値の定理の証明に興味をもち、考察しようとする。 ・関数の増減や極値の問題を、導関数を用いて調べ、解決しようとする。 ・身近にある最大値・最小値の問題を、導関数を用いて調べ、解決しようとする。 ・関数のグラフのさまざまな形に興味をもち、これまで学んだことを利用して調べようとする。 ・方程式や不等式を関数的視点で捉え、微分法を利用して解決しようとする。 ・直線上を運動する点の速度、加速度を基にして、平面上を運動する点の速度、加速度を考察しようとする。	○	○	○	20
	定期考查			○	○	○	2

3 学 期	【知識及び技能】 - 不定積分及び定積分の基本的な性質についての理解を深め、それらを用いて不定積分や定積分を求めること。 - 置換積分法及び部分積分法について理解し、簡単な場合について、それらを用いて不定積分や定積分を求めること。 【思考力、判断力、表現力等】 - 関数の式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりして、いろいろな関数の不定積分や定積分を求める方法について考察すること。 - 極限や定積分の考えを基に、立体の体積や曲線の長さなどを求める方法について考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 - 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養うこと。	積分法の発展的内容 不定積分 1. 不定積分とその基本性質 2. 置換積分法 3. 部分積分法 4. いろいろな関数の不定積分 定積分 5. 定積分とその基本性質 6. 定積分の置換積分法 7. 定積分の部分積分法 8. 定積分の種々の問題	【知識・技能】 - 不定積分の計算では、積分定数を書き漏らさずに示すことができる。 - 不定積分の定義や基本性質を理解し、それを利用して、種々の関数の不定積分が求められる。 - 置換積分法を理解し、それを利用して複雑な関数の不定積分が求められる。 - 部分積分法を理解し、それを利用して複雑な関数の不定積分が求められる。 - 分数式を部分分数に分解する方法を理解している。 - 定積分の定義や性質を理解し、それを利用する種々の関数の定積分の計算方法を理解している。 - 定積分の置換積分法では、積分区間の変換に注意して定積分を計算できる。 - 偶関数、奇関数の定積分の性質を理解し、それを利用して定積分を計算できる。 - 定積分の部分積分法を理解し、それを利用して複雑な関数の定積分を計算できる。 - 上端、下端に変数xを含む定積分を、xで微分することができる。 - 上端、下端がともに定数である定積分を含む関数を、定積分を定数とおくことで求められる。 - 数列の和を長方形の面積の和として捉え、その極限を、適当な関数の定積分で表して求められる。 - 関数の大小とその関数の定積分の大小との関係を理解している。 【思考・判断・表現】 - 不定積分の基本性質が利用できるよう、式を適切に変形することができる。 - 合成関数の微分の逆演算として、置換積分法を理解している。 - 積の微分の逆演算として、部分積分法を理解している。 - 被積分関数を適切に変形することで、不定積分を求めることができる。 - 絶対値を含む関数の定積分を、積分区間を分けて求めることができる。 $\sqrt{a^2-x^2}$の定積分を、円の面積と関連付けて考察できる。円の面積の公式は、定積分を利用して初めて数学的にきちんと証明されたことになることを理解している。 $\sin x$の定積分に部分積分法を用いて漸化式を導き、考察することができる。 $\sin x$, $\cos x$の定積分をそれぞれI, Jとにおいて求める方法を知り、考察することができる。 - 上端がxである定積分を、xの関数とみることができる。 - 曲線で囲まれた部分の面積を、微小な長方形の面積の和の極限として捉えられる。 - 不等式に現れる式の図形的意味を長方形の面積と結び付けて捉え考えることで、定積分を利用した不等式の証明について考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 - 積分法が微分法の逆演算であることから、不定積分を求めようとする。 - 簡単に不定積分の計算ができないとき、変数の置換をどのようにすればよいかを考え、置換積分を利用しようとする。 - 簡単に不定積分の計算ができないとき、被積分関数の特徴を見て部分積分を利用しようとする。 - 三角関数の積を和や積に変形する公式に興味をもち、自ら証明しようとする・簡単には定積分が求められない関数について、置換積分を用いて計算しようとする。 - 簡単には定積分が求められない関数について、部分積分を用いて計算しようとする。 - 曲線で囲まれた部分の面積を微小な長方形の和で近似する積分の基本的な考え方に興味、関心をもつ。 - 不定積分が求められない関数があることや、微分積分学の基本定理に興味をもち、調べようとする。	○	○	○	24
	【知識及び技能】 - 各単元を体系的に理解するとともに、事象を数値化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 - 数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 - 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養うこと。	《数学Ⅱ演習》 使用教材：キートレーニング	【知識・技能】 - 数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 - 事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的思考や判断ができています。 【主体的に学習に取り組む態度】 - 数学の論理や体系に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとしている。	○	○	○	6
	中テスト			○	○	○	1
	定期考査			○	○	○	1
							合計
							117

東京都立小石川中等教育学校 年間授業計画

科 目： 数学B+C

單位數： 2 單位

対象学年組：第 5 学年 A 組～ D 組

使用教科書： (数学B(104 数研 数B/710)、数学C(104 数研 数C/708)

教科	数学	の目標：	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
----	----	------	--

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数値化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目	数学B+C	の目標：	基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。
----	-------	------	--

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
【知識及び技能】 - 等差数列と等比数列について理解し、それらの一般項や和を求めること。 - いろいろな数列の一般項や和を求める方法について理解すること。 - 漸化式について理解し、事象の変化を漸化式で表したり、簡単な漸化式で表された数列の一般項を求めたりすること。 - 数学的帰納法について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 - 事象から離散的な変化を見いだし、それらの変化の規則性を数学的に表現し考察すること。 - 事象の再帰的な関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、数列の考えを問題解決に活用すること。 - 自然数の性質などを見いだし、それらを数学的帰納法を用いて証明するとともに、他の証明方法と比較し多面的に考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 - 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養うこと。	《数学B》 第1章 数列 第2節 数学的帰納法 7. 漸化式と数列 8. 数学的帰納法	【知識及び技能】 - 漸化式の意味を理解し、具体的に項が求められる。 - 漸化式を適切に変形して、その数列の特徴を考察することができる。 - おき換えを利用して、漸化式から一般項を求めることができる。 - 初項と漸化式から数列の一般項が求められる。 - 与えられた条件から a_n と a_{n+1} の間に成り立つ漸化式を求めることができる。 - 数学的帰納法を用いて、等式を証明できる。 - ある整数の倍数であることを、文字を用いて表現できる。 - 数学的帰納法を用いて、整数の性質を証明できる。 $n \geq k$ の場合に成り立つ不等式を、数学的帰納法を用いて証明できる。 【思考・判断・表現】 - 初項と漸化式を用いて数列を定義できることを理解している。 - 自然数 n に関する命題の証明には、数学的帰納法が有効なことを理解している。 - 一般項を推測して、それが正しいことを数学的帰納法で証明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 - おき換えや工夫を要する複雑な漸化式について、考察しようとする。 - 確率の問題に漸化式が利用できることに興味・関心をもち、問題解決に利用しようとする。 - 数学的帰納法を利用して、いろいろな事柄を積極的に証明しようとする。	○	○	○	10
【知識及び技能】 - 標本調査の考え方について理解を深めること。 - 確率変数と確率分布について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 - 確率分布や標本分布の特徴を、確率変数の平均、分散、標準偏差などを用いて考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 - 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養うこと。	《数学B》 第2章 統計的な推測 第1節 確率分布 1. 確率変数と確率分布 2. 確率変数の期待値と分散 3. 確率変数の変換	【知識・技能】 - 確率変数や確率分布について、用語の意味を理解している。 - 簡単な試行について、確率変数の確率分布を求めることができる。 - 確率変数の期待値、分散、標準偏差が求められる。 - 確率変数の変換公式を理解し、それを利用して、期待値、分散、標準偏差を求めることができる。 【思考・判断・表現】 - 確率変数の期待値、分散、標準偏差などを用いて、確率分布の特徴を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 - 確率的な試行の結果を表すのに確率分布を用いることのよさに気づき、確率分布について積極的に考察しようとする。 - 確率変数の期待値、分散、標準偏差の意味を理解し、進んで確率分布の特徴を調べようとする。 - 確率変数の期待値、分散に関する公式を、その定義や既知の公式を用いて導こうとする。 - 確率変数の変換公式を、期待値、分散、標準偏差の定義式から導こうとする。	○	○	○	6

1 学 期	【知識及び技能】 - 確率変数と確率分布について理解すること。 - 二項分布と正規分布の性質や特徴について理解すること。 - 正規分布を用いた区間推定及び仮説検定の方法を理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 - 目的に応じて標本調査を設計し、収集したデータを基にコンピュータなどの情報機器を用いて処理するなどして、母集団の特徴や傾向を推測し判断するとともに、標本調査の方法や結果を批判的に考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 - 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養うこと。	《数学B》 第2章 統計的な推測 第1節 確率分布 - 確率変数の和と期待値 - 独立な確率変数と期待値・分散 - 二項分布 - 正規分布 第2節 統計的な推測 - 母集団と標本 - 標本平均とその分布 0. 推定 1. 仮説検定	【知識・技能】 - 確率変数の独立について理解し、等式を用いて表すことができる。 - 事象の独立・従属について理解し、条件付き確率や乗法定理の計算から事象の独立・従属を導くことができる。 - 独立な確率変数の積の期待値、和の分散が求められる。 - 反復試行の結果を、二項分布を用いて表すことができる。 - 二項分布に従う確率変数の期待値、分散、標準偏差を求めることができる。 - 連続的な確率変数について理解し、確率変数の確率、期待値、分散が求められる。 - 標準正規分布に従う確率変数Zについての確率が求められる。 - 正規分布に従う確率変数Xを標準正規分布に従う確率変数Zに変換して確率が求められる。 - 二項分布を正規分布で近似して確率を求めることができる。 - 母集団分布と大きさ1の無作為標本の確率分布が一致することを理解し、母平均、母標準偏差が求められる。 - 母平均と母標準偏差から標本平均の期待値と標準偏差が求められる。 - 標本平均の分布を正規分布で近似して確率を求めることができる。 - 大数の法則について理解している。 - 推定に関わる用語・記号を適切に活用することができる。 - 信頼区間の考え方をを用いて、母平均や母比率の推定ができる。 - 仮説検定に関わる用語・記号を適切に活用することができる。 - 仮説検定の意味を理解し、正規分布を用いた仮説検定ができる。 - 母平均に対する仮説検定ができる。 【思考・判断・表現】 - 確率変数の積の期待値や和の分散と確率変数の性質との相互関係が捉えられている。 - 反復試行の結果を、二項分布を用いて考察することができる。 - 正規分布の特徴を理解し、さまざまな視点から捉えられる。 - 日常の身近な問題を統計的に処理するのに正規分布を利用できる。 - 無作為抽出の方法について、具体的に考察することができる。 - 母平均と母標準偏差の考え方や標本平均の期待値と標準偏差の考え方がわかる。 - 推定や信頼区間の考え方がわかる。 - 片側検定と両側検定の違いを理解し、適切に活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 - 独立・従属の観点で事象を考察することに関心をもち、乗法定理を事象の独立・従属の観点から考えようとする。 - 二項分布に興味、関心をもち、さいころを投げるなどの具体的事項について考察しようとする。 - 連続的な確率変数である正規分布に興味をもち、正規分布について積極的に考察しようとする。 - 実際に行われているさまざまな調査に興味をもち、それぞれの調査の特徴を調べたり考えたりしようとする。 - 大数の法則に興味をもち、標本の大きさnが大きくなるときの分布曲線の変化を、コンピュータなどを用いて積極的に調べようとする。 - 母平均や母比率の推定に関心を示す。 - 仮説検定によってさまざまな判断ができることに興味をもち、現実の問題の解説に役立てようとする。	○	○	○	10
	定期考査			○	○	○	2

【知識及び技能】 ・平面上のベクトルの意味，相等，和，差，実数倍，位置ベクトル，ベクトルの成分表示について理解すること。 ・ベクトルの内積及びその基本的な性質について理解すること。 ・ベクトルの内積及びその基本的な性質について理解すること。 ・座標及びベクトルの考えが平面から空間に拡張できることを理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・実数などの演算の法則と関連付けで，ベクトルの演算法則を考察すること。 ・ベクトルやその内積の基本的な性質などを用いて，平面図形の性質を見いだしたり，多面的に考察したりすること。 ・ベクトルやその内積の基本的な性質などを用いて，平面図形や空間図形の性質を見いだしたり，多面的に考察したりすること。 ・数量や図形及びそれらの関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，ベクトルやその内積の考えを問題解決に活用すること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養うこと。 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養うこと。	《数学C》 第1章 平面上のベクトル 第1節 平面上のベクトルとその演算 1. 平面上のベクトル 2. ベクトルの演算 3. ベクトルの成分 4. ベクトルの内積 第2節 ベクトルと平面図形 5. 位置ベクトル 6. ベクトルと図形 7. ベクトル方程式 第2章 空間のベクトル 1. 空間の座標 2. 空間のベクトル 3. ベクトルの成分 4. ベクトルの内積 5. 位置ベクトル 6. ベクトルと図形 7. 座標空間における図形	【知識・技能】 ・点の位置を，基準となる点と1つのベクトルを用いて表すことができることを理解している。 ・線分の内分点，外分点，三角形の重心を位置ベクトルで表す公式を理解している。 ・3点が一直線上にあることをベクトルで表現して利用できる。 ・線分上の点を，線分を$s:(1-s)$に内分する点として処理できる。 ・直線のベクトル方程式について，媒介変数を用いて表すことができる。 ・通る1点と法線ベクトルから直線の方程式を求めることができる。 ・ベクトルを用いて2直線のなす角を求めることができる。 ・円や円の接線のベクトル方程式を理解している。 ・空間における図形を，座標を利用して示すことができる。 ・座標空間において，点の座標，2点間の距離などが求められる。 ・空間図形において，ベクトルの和や差を考慮することができる。 ・空間のベクトルを，3つのベクトルの1次結合の形に表現できる。 ・成分表示されたベクトルの大きさ，和，差，実数倍の計算ができる。 ・成分表示されたベクトルを，3つのベクトルの1次結合の形に表現できる。 ・点の座標とベクトルの成分の関係について理解している。 ・立体図形におけるベクトルの内積を，適切な方法で計算できる。 ・ベクトルのなす角を，内積を利用して求めることができる。 ・ベクトルの垂直条件を理解し，計算に利用できる。 ・位置ベクトルの諸性質が平面の場合と同じであることを理解して，それらを利用できる。 ・空間において3点が一直線上にあるための条件を理解している。 ・ベクトルの分解の一意性を理解し，計算に利用できる。 ・ある点が3点で定まる平面上にあるための必要十分条件を理解し，それを利用することができる。 ・座標空間における線分の内分点・外分点などの座標が求められる。				
---	--	--	--	--	--	--

		・座標軸に基盤な平面の方程式，球面の方程式について理解している。 【思考・判断・表現】 ・位置ベクトルを活用して，図形の性質が考察できる。 ・図形の性質をベクトルで表現して扱うことができる。 ・ベクトルの分解の一意性を理解し，計算に利用できる。 ・垂直条件をベクトルの内積で表現して考察できる。 ・直線上の点を位置ベクトルで考察し，直線のベクトル方程式と関連付けることができる。 ・点が線分AB上に存在する条件を活用して，点Pの存在範囲を考察することができる。 ・空間のベクトルを，平面上のベクトルの拡張として捉えることができ，平面上のベクトルで成り立つ性質が，空間においても同様に成り立つことを理解している。 ・空間のベクトルの成分表示を，平面上のベクトルの拡張として捉えることができる。 ・空間のベクトルの内積を，平面上のベクトルの拡張として捉えることができる。 ・座標空間の3点で定まる三角形の角の大きさを，ベクトルを利用して求めることができる。 ・ベクトルの垂直条件を活用して，与えられたベクトルに垂直なベクトルを求めることができる。 ・位置ベクトルの一意性を理解し，図形の性質を証明できる。 ・3点が一直線上にあることをベクトルで表現して利用できる。 ・3点で定まる平面上に点Pがあることを，ベクトルで表現して利用できる。 ・線分の長さ，垂直条件をベクトルの内積で表現して考察できる。 ・内積を利用して，直線に垂線を下ろしたときの交点の座標を求めることができる。 ・空間ベクトルを利用して，線分の分点の座標などを考察できる。 ・球面と平面が交わってできる図形を，連立方程式の解の集合として捉えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・線分ABを$m:n$に外分する点の位置ベクトルを表す式が，mとnの大小関係に関わらず同じであることに興味をもち，確かめようとする。 ・位置ベクトルを用いて，平面図形についての命題を証明しようとする。 ・ベクトルを用いて円の性質を考察する意欲がある。 ・点と直線の距離の公式が，ベクトルを利用して導けることに興味をもち，公式を証明しようとする。 ・既知である平面の座標の概念を空間の座標に拡張しようとする。 ・空間のベクトルと平面上のベクトルを比較して考察しようとする。 ・空間のベクトルの成分表示と平面上のベクトルの成分表示を比較して考察しようとする。 ・空間のベクトルの内積と平面上のベクトルの内積を比較して考察しようとする。 ・成分表示されたベクトルの内積の公式を，平面の場合の拡張として導こうとする。 ・四面体の重心に興味をもち，その性質を位置ベクトルで考察しようとする。 ・3点が定める平面上の点の位置ベクトルを一般的に考察し，その結果を利用しようとする。 ・球面の方程式に興味をもち，考察しようとする。 ・座標空間における平面の方程式，直線の方程式について	○	○	○	28
定期考査			○	○	○	2

3 学 期	【知識及び技能】 ・放物線、楕（だ）円、双曲線が二次式で表されることが及びそれらの二次曲線の基本的な性質について理解すること。 ・曲線の媒介変数表示について理解すること。 ・極座標の意味及び曲線が極方程式で表されることについて理解すること。 ・複素数平面と複素数の極形式、複素数の実数倍、和、差、積及び商の図形的な意味を理解すること。 ・ド・モアブルの定理について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・放物線、楕（だ）円、双曲線を相互に関連付けて捉え、考察すること。 ・複素数平面における図形の移動などと関連付けて、複素数の演算や累乗根などの意味を考察すること。 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、コンピュータなどの情報機器を用いて曲線を表すなどして、媒介変数や極座標及び複素数平面の考えを問題解決に活用したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養うこと。	《数学C》 第1章 複素数平面 1. 複素数平面 2. 複素数の極形式と乗法、除法 3. ド・モアブルの定理 4. 複素数と図形	【知識・技能】 ・複素数平面の定義を理解し、複素数を表す点を複素数平面上に記すことができる。 ・複素数の実数倍、加法、減法の、複素数平面における図形的意味を理解している。 ・複素数の絶対値の定義および図形的意味を理解している。 ・複素数の絶対値の定義および図形的意味を理解している。 ・極形式の定義を理解し、複素数を極形式で表すことができる。 ・極形式を利用して、複素数の積、商を求めることができる。 ・複素数の積、商の絶対値、偏角の性質を理解し、求めることができる。 ・ド・モアブルの定理を利用して、複素数のn乗を求めることができる。 ・複素数のn乗根の定義と図形的意味を理解し、極形式を利用してn乗根を求めることができる。 ・線分の内分点・外分点や、複素数の方程式で表される図形を求めることができる。 ・一般の点を中心とする点の回転について成り立つ複素数の関係式を理解し、回転した点を表す複素数を求めることができる。 ・複素数平面上で半直線のなす角を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・共役な複素数の図形的意味とその性質を理解し、証明することができる。 ・極形式を利用することで、複素数の乗法、除法の図形的意味が明らかになることを理解する。 ・複素数の乗法、除法の図形的意味を理解し、活用することができる。 ・複素数のn乗根がちょうどn個存在することを、極形式を用いて考察することができる。 ・1のn乗根の求め方をもとに、一般の複素数のn乗根を求めることができる。 ・複素数zについて等式$zn=1$が成り立つことを利用して、複素数の複雑な式の値が求められる。 ・点zと連動して動く点wが描く図形について、その式の意味も含めて考察したり、説明したりできる。 ・複素数平面上における半直線のなす角や線分の長さを活用して、三角形の形状などについて考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・複素数平面を考えることにより、複素数の図形的側面が明らかになることを理解しようとする。 ・極形式の有用性を理解し、乗法と除法の図形的意味を理解しようとする。 ・ド・モアブルの定理の有用性を理解し、活用しようとする。 ・$zn-1$の因数分解の形に興味をもち、考察しようとする。 ・図形の問題を、複素数の演算の図形的意味を用いて積極的に考察しようとする。	○	○	○	18
	中テスト			○	○	○	1
	定期考査			○	○	○	1
							合計
							78

中等教育学校 令和7年度（5 学年用）教科

理科

科目

Advanced小石川Physics

教科：理科

科目：物理基礎

単位数：2 単位

対象学年組：第 5 学年 A 組～ D 組

使用教科書：（ 総合物理 1， 2（数研出版） ）

教科 理科

の目標：自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】科学を学ぶ楽しさや有用性を実感しながら自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】数多くの観察、実験などを行い、探究の過程を通して科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度及び、科学的な根拠に基づいて多面的に判断しようとする態度を養う。

科目	Advanced小石川Physics	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
波および等速円運動についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 波の性質 【知識及び技能】 波について、波の進行、重ね合わせ、反射、屈折、回折、干渉について実験を通じて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 波について、観察、実験など通して探究し、波についての規則性や関係性を見だして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な物理現象に関する事項について進んで関わり、科学的に探求しようという態度を養うとともに、自然を総合的に見る。	指導項目 ・波の進み方 ・ホイヘンスの原理 ・重ね合わせの原理 ・反射、屈折、回折、干渉 教材 ・教科書 ・アクセス総合物理 1人1台端末の活用 ・実験方法についての事前学習 ・実験結果のまとめ	【知識・技能】 波について、波の進行、重ね合わせ、反射、屈折、回折、干渉について実験を通じて理解している。 それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 波について、観察、実験など通して探究し、波についての規則性や関係性を見だして表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な物理現象に関する事項について進んで関わり、科学的に探求しようという態度を養うとともに、自然を総合的に見るができる。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	B 音波 【知識及び技能】 音の干渉と回折、ドップラー効果について実験等を通じて理解するとともに、それらの実験などに関する技能を身に付ける。また、いろいろな楽器の原理について統一的に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 波について、観察、実験など通して探究し、音波の規則性や関係性を見だして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な物理現象に関する事項について進んで関わり、科学的に探求しようという態度を養うとともに、自然を総合的に見るができる。	指導項目 ・音の干渉、回折 ・ドップラー効果 ・楽器の原理 教材 ・教科書 ・アクセス総合物理 1人1台端末の活用 ・実験方法についての事前学習 ・実験結果のまとめ	【知識・技能】 音の干渉と回折、ドップラー効果について実験等を通じて理解している。 実験などに関する技能が身についている、いろいろな楽器の原理について統一的に理解している。 【思考・判断・表現】 波について、観察、実験など通して探究し、音波の規則性や関係性を見だして表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な物理現象に関する事項について進んで関わり、科学的に探求しようという態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができる。	○	○	○	13
	定期考査・他教科との連携授業			○	○		1
2 学 期	C 光 【知識及び技能】 光の反射、屈折、速さ、波長などについて、観察、実験を通して理解する。 光の反射、屈折、速さ、波長などについて、観察、実験を通して理解する。 光の回折と干渉について理解する。 ヤングの実験、回折格子及び薄膜の干渉などの観察、実験を通して、光の回折、干渉、光路長、反射による位相のずれについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 波について、観察、実験など通して探究し、光と波の性質についての規則性や関係性を見だして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な物理現象に関する事項について進んで関わり、科学的に探求しようという態度を養うとともに、自然を総合的に見るができる。	指導項目 ・光の性質 ・光の反射・屈折・回折・干渉 教材 ・教科書 ・アクセス総合物理 1人1台端末の活用 ・実験方法についての事前学習 ・実験結果のまとめ	【知識及び技能】 光の反射、屈折、速さ、波長などについて、観察、実験を通して理解している。 光の回折と干渉について理解している。 ヤングの実験、回折格子及び薄膜の干渉などの観察、実験を通して、光の回折、干渉、光路長、反射による位相のずれについて理解している。 実験などに関する技能が身についている。 【思考力、判断力、表現力等】 波について、観察、実験など通して探究し、光と波の規則性や関係性を見だして表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な物理現象に関する事項について進んで関わり、科学的に探求しようという態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができる。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1

	・鏡とレンズの幾何光学的な性質として、凹面鏡や単一レンズの焦点の存在や光の進路の規則性について理解する。 ・光の分散、偏光などについて、観察、実験を通して理解する。また、偏光板やプリズムを用いた光の観察などを通して、光は横波であることや、光のスペクトルについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 波について、観察、実験など通して探究し、屈折についての規則性や関係性を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な物理現象に関する事項について進んで関わり、科学的に探求しようという態度を養うとともに、自然を総合的に見ることが出来る。	指導項目 ・凸レンズ、凹レンズ ・光の分散・変更 教材 ・教科書 ・アクセス総合物理 1人1台端末の活用 ・実験方法についての事前学習 ・実験結果のまとめ	・鏡とレンズの幾何光学的な性質として、凹面鏡や単一レンズの焦点の存在や光の進路の規則性について理解している。 ・光の分散、偏光などについて、観察、実験を通して理解する。また、偏光板やプリズムを用いた光の観察などを通して、光は横波であることや、光のスペクトルについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 波について、観察、実験など通して探究し、屈折についての規則性や関係性を見いだして表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な物理現象に関する事項について進んで関わり、科学的に探求しようという態度を養うとともに、自然を総合的に見ることが出来る。	○	○	○	14
	定期考査・他教科との連携授業			○	○		1
3 学 期	D 円運動 【知識及び技能】 慣性力および等速円運動について実験等を通じて理解するとともに、それらの実験などに関する技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 円運動について、観察、実験など通して探究し、円運動する物体にはたらく力を用いて表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な物理現象に関する事項について進んで関わり、科学的に探求しようという態度を養うとともに、自然を総合的に見ることが出来る。	指導項目 ・慣性力 ・向心力、遠心力 ・等速円運動 ・さまざまな円運動 ・万有引力 教材 ・教科書 ・アクセス総合物理 1人1台端末の活用 ・実験方法についての事前学習 ・実験結果のまとめ	【知識及び技能】 慣性力および等速円運動について実験等を通じて理解するとともに、それらの実験などに関する技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 円運動について、観察、実験など通して探究し、円運動する物体にはたらく力を用いて表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な物理現象に関する事項について進んで関わり、科学的に探求しようという態度を養うとともに、自然を総合的に見ることが出来る。	○	○	○	10
	・鏡とレンズの幾何光学的な性質として、凹面鏡や単一レンズの焦点の存在や光の進路の規則性について理解する。 ・光の分散、偏光などについて、観察、実験を通して理解する。また、偏光板やプリズムを用いた光の観察などを通して、光は横波であることや、光のスペクトルについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 波について、観察、実験など通して探究し、屈折についての規則性や関係性を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な物理現象に関する事項について進んで関わり、科学的に探求しようという態度を養うとともに、自然を総合的に見ることが出来る。	指導項目 ・凸レンズ、凹レンズ ・光の分散・変更 教材 ・教科書 ・アクセス総合物理 1人1台端末の活用 ・実験方法についての事前学習 ・実験結果のまとめ	・鏡とレンズの幾何光学的な性質として、凹面鏡や単一レンズの焦点の存在や光の進路の規則性について理解している。 ・光の分散、偏光などについて、観察、実験を通して理解する。また、偏光板やプリズムを用いた光の観察などを通して、光は横波であることや、光のスペクトルについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 波について、観察、実験など通して探究し、屈折についての規則性や関係性を見いだして表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な物理現象に関する事項について進んで関わり、科学的に探求しようという態度を養うとともに、自然を総合的に見ることが出来る。	○	○	○	9
	定期考査・他教科との連携授業			○	○		1
							合計
							78

東京都立小石川中等教育学校 年間授業計画

教 科：理科 科 目：Advanced Chemistry（学校設定科目） 単位数：2 単位

対象学年組：第5 学年 A組～D組

使用教科書：化学 Academia（実教出版）

理科の目標：理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、化学的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】科学を学ぶ楽しさや有用性を実感しながら化学的な事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】数多くの観察、実験などを行い、探究の過程を通して科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度及び、科学的な根拠に基づいて多面的に判断しようとする態度を養う。

Advanced Chemistry の目標：化学的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、化学的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 炭化水素の性質 【知識及び技能】 炭化水素の性質や反応について観察、実験などを通して理解しようとするとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 炭化水素について、観察、実験などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 炭化水素に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 脂肪族炭化水素の構造と性質 ・主な観察、実験、ワークショップ 炭化水素の構造 都市ガスとLP ガス 不飽和炭化水素の性質 など ・教材 プリント	【知識・技能】 炭化水素の性質や反応について、化学の特徴を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 炭化水素について、観察、実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 炭化水素に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	B 官能基をもつ化合物 【知識及び技能】 官能基をもつ脂肪族化合物の性質や反応について観察、実験などを通して理解しようとするとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 官能基をもつ脂肪族化合物について、観察、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 官能基をもつ脂肪族化合物に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 官能基をもつ脂肪族化合物 アルコール、エーテル アルデヒド、ケトン カルボン酸、エステル ・主な観察、実験、ワークショップ アルコールの酸化 エステル化、けん化 油脂の性質 など ・教材 プリント	【知識・技能】 官能基をもつ脂肪族化合物の性質や反応について、酸化と還元の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 官能基をもつ脂肪族化合物について、観察、実験などを通して探究し、有機化合物の性質における規則性や関係性を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 官能基をもつ脂肪族化合物に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
2 学期	C 芳香族化合物 【知識及び技能】 芳香族化合物の性質や反応について観察、実験などを通して理解しようとするとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 芳香族化合物について、観察、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 芳香族化合物に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 芳香族化合物 芳香族炭化水素、フェノール類 芳香族カルボン酸 芳香族アミン ・主な観察、実験、ワークショップ ベンゼンの置換反応 解熱鎮痛剤の合成 人工染料の合成 など ・教材 プリント	【知識・技能】 芳香族化合物の性質や反応についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 芳香族化合物について、見通しをもって観察、実験などを行い、有機化合物の性質における規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程を振り返るなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 芳香族化合物に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
	D 合成高分子化合物 【知識及び技能】 合成高分子化合物の性質について観察、実験などを通して理解しようとするとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 合成高分子化合物について、観察、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 合成高分子化合物に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 合成高分子化合物 ・主な観察、実験、ワークショップ プラスチックの性質 人工繊維の合成 ・教材 プリント	【知識・技能】 合成高分子化合物の性質についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 合成高分子化合物について、見通しをもって観察、実験などを行い、高分子化合物の性質における規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程を振り返るなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	13

			合成高分子化合物に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。				
	定期考査			○	○		1
3 学期	E 天然高分子化合物 【知識及び技能】 天然高分子化合物の性質について観察、実験などを通して理解しようとするとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 天然高分子化合物について、観察、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 天然高分子化合物に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 天然高分子化合物 ・主な観察、実験、ワークショップ 糖類の性質 タンパク質の性質 核酸の構造 ・教材 プリント	【知識・技能】 天然高分子化合物の性質についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 天然高分子化合物について、見通しをもって観察、実験などを行い、高分子化合物の性質における規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程を振り返るなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 天然高分子化合物に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	21
	定期考査						1
							合計
							78

※ 「Advanced Physics」「Advanced Biology」と連携し、教科融合型の授業を開発・実施する。

高等学校

理科

科目 Advanced Biology

教科：理科 科目：Advanced Biology

単位数：2 単位

対象学年組：第 5 学年 A 組～ D 組

使用教科書：（なし）

教科 理科

の目標： 自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 Advanced Biology

の目標： 生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連、及び他科目との関連を図りながら、生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 生命現象とヒトの医学 【知識及び技能】 ヒトのからだに関する資料に基づいて、生命の維持、及び健康について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 ヒトのからだについて、代替動物における観察を通して探究し、各器官の形態、働き、位置関係について関連性を見だし、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	・指導事項 ヒトのからだの総論、各論 ブタの内臓一式の観察 プレゼン ・教材 「生物」（数研出版）、フォトサイエンス生物図録（数研出版）、スクウェア最新図説生物（第一学習社）、学ぶキミを引き出す生物基礎（ランズ）	【知識・技能】 ヒトのからだについて、基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ヒトのからだについて、代替動物における観察を通して探究し、多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ヒトのからだについて主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。				7
	B 遺伝子の変化のしくみ 【知識及び技能】 ヒトのがんの発生活起因や抗がん剤の作用機序に関する資料に基づいて、がんと遺伝子の関連を見いだして理解すること。また、細胞分裂とがんの発生を関連付けて理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 ヒトのがんについて、資料に基づいて探究し、発生のしくみや抗がん剤の作用機序のしくみを見いだして表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	・指導事項 遺伝子の変化のしくみの概論、各論 がんの発生活序、抗がん剤の作用機序 ・教材 「生物」（数研出版）、フォトサイエンス生物図録（数研出版）、スクウェア最新図説生物（第一学習社）、学ぶキミを引き出す生物基礎（ランズ）	【知識・技能】 ヒトのがんの発生活起因や抗がん剤の作用機序に関して、基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ヒトのがんについて、資料などを通して探究し、発生のしくみや抗がん剤の作用機序のしくみを見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ヒトのからだについて主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。				6
	定期考査						1
	C 遺伝情報の発現 【知識及び技能】 様々な生物の比較に基づいて、遺伝子の発現調節の共通性を理解すること。また、植物の遺伝子発現調節と植物ホルモンを関連付けて理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 植物のカルス形成実験を通して、遺伝子の発現調節に関して探究し、生物がもつ共通の特徴を見いだして表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	・指導事項 植物のカルス形成 生徒の研究立案、実施 遺伝子発現のしくみの概論、各論 ・教材 「生物」（数研出版）、フォトサイエンス生物図録（数研出版）、スクウェア最新図説生物（第一学習社）、学ぶキミを引き出す生物基礎（ランズ）	【知識・技能】 様々な生物の比較に基づいて、遺伝子の発現調節に共通する基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 植物のカルス形成実験を通して探究し、生態系における、生物の多様性及び生物と環境との関係性を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生物や生物現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。				13
	定期考査						1

2 学 期	D 遺伝子を扱う技術 【知識及び技能】 遺伝子を扱う技術について、その原理と有用性を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 生物の遺伝子の多様性について、実験計画の立案及び実践を通して探究し、生物の形質と遺伝子との関係性を見いだして表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	・指導事項 分子生物学に関する器具、機器の理論、使用用途、操作練習の実践 ・教材 「生物」（数研出版）、フォトサイエンス生物図録（数研出版）、スクウェア最新図説生物（第一学習社）、学ぶキミを引き出す生物基礎（ランズ）	【知識・技能】 遺伝子を扱う技術について、その原理と有用性について、基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生物の遺伝子の多様性について、観察、実験などを通して探究し、生物の形質と遺伝子との関係性を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生物や生物現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	E 遺伝子とその働き 【知識及び技能】 DNA の塩基配列とタンパク質の構造に関する資料に基づいて、タンパク質の働きとの関係を見いだして理解するとともに、生物の遺伝子の多様性と種の多様性、及び疾患や進化と関連付けを理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 生物の塩基配列と形質、及びタンパク質の働きについて、観察、実験などを通して探究し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	・指導事項 分子生物学概論、各論 遺伝子導入 プライマー設計、研究計画発表 ・教材 「生物」（数研出版）、フォトサイエンス生物図録（数研出版）、スクウェア最新図説生物（第一学習社）、学ぶキミを引き出す生物基礎（ランズ）	【知識・技能】 生物の塩基配列と形質、及びタンパク質の働きに関する基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生物の塩基配列と形質、及びタンパク質の働きについて、観察、実験などを通して探究し、遺伝子とその働きの特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝子とタンパク質の働きに主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	F 日常生活と遺伝子とのつながりにおける探究 【知識及び技能】 日常生活や社会と遺伝子とのつながり、及び他科目との関連を図りながら、生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 日常生活と遺伝子とのつながりについて観察、実験などを通して探究し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	・指導事項 生徒が立案した実験計画、及びその実証、レポート作成、発表 ・教材 「生物」（数研出版）、フォトサイエンス生物図録（数研出版）、スクウェア最新図説生物（第一学習社）、学ぶキミを引き出す生物基礎（ランズ）	【知識・技能】 日常生活と遺伝子とのつながりについて、基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 日常生活と遺伝子とのつながりについて、観察、実験などを通して探究し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活と遺伝子の働に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	19
	定期考査			○	○		1
							合計
							78

東京都立小石川中等教育学校 年間授業計画

教 科： 保健体育 科 目： 体育 単位数： 2 単位
 対象学年組：第 5 学年 A 組～ D 組
 使用教科書： （ 新高等保健体育 ）
 教科 保健体育 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目	体育	の目標：
	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間
		の考えたことを他者に伝える力を養う。
		運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A ソフトボール（男子） 【知識及び技能】 状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ソフトボールに主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようすること、合意形成に貢献しようすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようすること、互いに助け合い高め合おうすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	・キャッチボール ・Tバッティング ・フリーバッティング ・ノック ・試合 ・学習ガードの活用	【知識・技能】 ①身体全体を使ってバットを振りぬくことができる。 ②ボールの高さやコースなどにタイミングを合わせてボールをとることができる。 ③守備スペースが空いた方向をねらってボールを打ち返すことができる。 【思考・判断・表現】 ①選択した運動について、チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。 ②体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに球技を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①仲間の課題を指摘するなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 ②危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保している。	○	○	○	12
	A バレーボール（女子） 【知識及び技能】 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 バレーボールに主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようすること、合意形成に貢献しようすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようすること、互いに助け合い高め合おうすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	・基礎練習 （アンダー、オーバー） ・スパイク練習 ・サーブ練習 ・ミニゲーム ・試合 ・学習カード ・一人一台端末の活用	【知識・技能】 ①サーブではボールをねらった場所に打つことができる。 ②攻撃につなげるための次のプレイをしやすい高さと位置にボールを上げることができる。 ③ラリーの中で、味方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーすることができる。 【思考・判断・表現】 自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題を発見し、課題解決に有効な練習方法を工夫するとともに、自己の考えを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしている。 ②一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようしている。 ③健康・安全を確保している。	○	○	○	
	B バスケットボール（男子） 【知識及び技能】 状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 バスケットボールに主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようすること、合意形成に貢献しようすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようすること、互いに助け合い高め合おうすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	・基礎練習 （ハンドリング、ドリブル、ピボット、パス、キャッチ、シュート） ・1対1 ・2対1 ・3対2 ・試合 ・学習カード ・一人一台端末の活用	【知識・技能】 ①味方が作り出した空間にパスを送ることができる。 ②空いた空間に向かってボールをコントロールして運ぶことができる。 ③守備者とボールの間に自分の体を入れて、味方と相手の動きを見ながらボールをキープすることができる。 【思考・判断・表現】 ①選択した運動について、チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。 ②体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに球技を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①仲間の課題を指摘するなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 ②危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保している。	○	○	○	12
	B 硬式テニス（女子） 【知識及び技能】 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 テニスに主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようすること、合意形成に貢献しようすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようすること、互いに助け合い高め合おうすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	・基本グリップ ・フォアハンド ・バックハンド ・サービス&サービスマッシャー ・ボレー&スマッシュ ・ロブ&ドロップ ・試合 ・学習カード ・一人一台端末の活用	【知識・技能】 ①サーブでは、ボールに変化をつけて打つことができる。 ②ボールを相手側のコートの守備のいない空間に緩急や高低などの変化をつけて打ち返すことができる。 ③ボールに回転をかけて打ち出したり、回転に合わせて返球したりすることができる。 【思考・判断・表現】 ①選択した運動について、チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。 ②体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに球技を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①仲間の課題を指摘するなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 ②危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保している。	○	○	○	

B ユニホック（女子） 【知識及び技能】 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間への侵入などから攻防をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ユニホックに主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、合意形成に貢献しようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い高め合おうということなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	・基本グリップ ・パス ・ドリブル ・1対1 ・2対1 ・3対2 ・試合 ・学習カード ・一人一台端末の活用	【知識・技能】 ①味方が作り出した空間にパスを送ることができる。 ②空いた空間に向かってボールをコントロールして運ぶことができる。 ③用具を操作して、味方と相手の動きを見ながらボールをキープすることができる。 【思考・判断・表現】 ①選択した運動について、チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。 ②体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに球技を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①仲間の課題を指摘するなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 ②危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保している。	○	○	○	
C 水泳（男女） 【知識及び技能】 背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようということ、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうということ、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようということなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保することができるようにする。	・手の動きの練習（呼吸も含む） ・足の動きの練習（呼吸も含む） ・フルとキックのタイミングを合わせた練習（呼吸も含む） ・スタート練習 ・学習カード ・一人一台端末の活用	【知識・技能】 ①入水した手は、肩のローリングによって手のひらをやや下側にに向けて水をとらえ、肘を曲げながらかくことができる。 ②かき終わりで肘を伸ばした後、力を抜き、肩のローリングを使ってリズムよくリカバリー動作を行うことができる。 【思考・判断・表現】 ①パディやグループでの学習で、状況に応じて自己や仲間の役割を提案している。 ②体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに水泳を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 ②水泳の事故防止の心得を遵守し、危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保している。	○	○	○	10
D 卓球（男子） 【知識及び技能】 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作出しなどの攻防をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 卓球に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、合意形成に貢献しようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い高め合おうということなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	・ラケットの持ち方 ・基礎練習（ドライブ、スマッシュ） ・サーブ練習 ・実践練習 ・個人戦 ・ダブルス ・学習カード ・一人一台端末の活用	【知識・技能】 ①仲間と運動して、打ち返したりすることができる。 ②ボールをコントロールして、相手側の狙ったコートに打ち込むことができる。 ③チームの作戦に応じたサービスから3回目攻撃ができる。 【思考・判断・表現】 ①選択した運動について、チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。 ②体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに球技を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①仲間の課題を指摘するなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 ②危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保している。	○	○	○	
D ソフトボール（女子） 【知識及び技能】 状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ソフトボールに主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、合意形成に貢献しようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い高め合おうということなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	・キャッチボール ・Tバッティング ・フリーバッティング ・ノック ・試合 ・学習ガードの活用	【知識・技能】 ①身体全体を使ってバットを振りぬくことができる。 ②ボールの高さやコースなどにタイミングを合わせてボールをとらえることができる。 ③守備スペースが空いた方向をねらってボールを打ち返すことができる。 【思考・判断・表現】 ①選択した運動について、チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。 ②体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに球技を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①仲間の課題を指摘するなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 ②危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保している。	○	○	○	9

2 学 期	E サッカー（男子） 【知識及び技能】 状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 バスケットボールに主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、合意形成に貢献しようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い高め合おうということなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	・ボール慣れ（ボールタッチ） ・パス、トラップ練習 ・スクエアパス（カットマン入れて） ・シュート練習 ・4対2 ・ミニゲーム ・試合 ・学習カード ・一人一台端末の活用	【知識・技能】 ①味方が作り出した空間にパスを送ることができる。 ②空いた空間に向かってボールをコントロールして運ぶことができる。 ③守備者とボールの間に自分の体を入れて、味方と相手の動きを見ながらボールをキープすることができる。 【思考・判断・表現】 ①選択した運動について、チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。 ②体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに球技を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①仲間の課題を指摘するなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 ②危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保している。	○	○	○	9
	E 硬式テニス（女子） 【知識及び技能】 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 テニスに主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、合意形成に貢献しようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い高め合おうということなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	・基本グリップ ・フォアハンド ・バックハンド ・サービス&サービスリターン ・ボレー&スマッシュ ・ロブ&ドロップ ・試合 ・学習カード ・一人一台端末の活用	【知識・技能】 ①サービスでは、ボールに変化をつけて打つことができる。 ②ボールを相手側のコートの守備のいない空間に緩急や高低などの変化をつけて打ち返すことができる。 ③ボールに回転をかけて打ち出したり、回転に合わせて返球したりすることができる。 【思考・判断・表現】 ①選択した運動について、チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。 ②体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに球技を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①仲間の課題を指摘するなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 ②危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保している。	○	○	○	
	E ユニホック（女子） 【知識及び技能】 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間への侵入などから攻防をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ユニホックに主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、合意形成に貢献しようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い高め合おうということなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	・基本グリップ ・パス ・ドリブル ・1対1 ・2対1 ・3対2 ・試合 ・学習カード ・一人一台端末の活用	【知識・技能】 ①味方が作り出した空間にパスを送ることができる。 ②空いた空間に向かってボールをコントロールして運ぶことができる。 ③用具を操作して、味方と相手の動きを見ながらボールをキープすることができる。 【思考・判断・表現】 ①選択した運動について、チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。 ②体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに球技を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①仲間の課題を指摘するなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 ②危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保している。	○	○	○	
	F 体育理論（男女） 【知識及び技能】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に主体的に取り組むことができるようにする。	①運動やスポーツの技能と体力及びスポーツによる障害について ②スポーツの技術と技能及びその変化について ③運動やスポーツの技能の上達過程について ④運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方について ・一人一台端末の活用	【知識・技能】 ①運動やスポーツの技能と体力及びスポーツによる障害について理解している。 ②スポーツの技術と技能及びその変化について理解している。 ③運動やスポーツの技能の上達過程について理解している。 ④運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方について理解している。 【思考・判断・表現】 ①運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、概念と自己の状況を関連付けたりして、自己や社会についての課題を発見している。 ②運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方について、習得した知識を基に、環境の異なる場所や変化を想定して、危険を予見し回避するための自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①運動やスポーツの技能と体力及びスポーツによる障害について自主的に取り組もうとしている。 ②スポーツの技術と技能及びその変化について自主的に取り組もうとしている。 ③運動やスポーツの技能の上達過程について自主的に取り組もうとしている。 ④運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方について自主的に取り組もうとしている。	○	○	○	

3 学 期	6 長距離走 (男女) 【知識及び技能】 長距離走では、ペースの変化に対応して走ることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとし、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとし、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとし、健康・安全を確保することができるようにする。	・12分間走 ・1500m ・学習カード ・一人一台端末の活用	【知識・技能】 ①自分で設定したペースの変化や仲間のペースに応じて、ストライドやピッチを切り替えて走ることができる。 【思考・判断・表現】 ①課題解決の過程を踏まえて、自己や仲間の新たな課題を発見している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている。 ②役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとしている。	○	○	○	8
	11 バレーボール (男子) 【知識及び技能】 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 バレーボールに主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、合意形成に貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い高め合おうとし、健康・安全を確保することができるようにする。	・基礎練習 (アンダー、オーバー) ・スパイク練習 ・サーブ練習 ・ミニゲーム ・試合 ・学習カード ・一人一台端末の活用	【知識・技能】 ①サービスではボールをねらった場所に打つことができる。 ②攻撃につなげるための次のプレイをしやすい高さや位置にボールを上げることができる。 ③ラリーの中で、味方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーすることができる。 【思考・判断・表現】 自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題を発見し、課題解決に有効な練習方法を工夫するとともに、自己の考えを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしている。 ②一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしている。 ③健康・安全を確保している。	○	○	○	12
	11 バスケットボール (女子) 【知識及び技能】 状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 バスケットボールに主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、合意形成に貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い高め合おうとし、健康・安全を確保することができるようにする。	・基礎練習 (ハンドリング、ドリブル、ピボット、パス、キャッチ、シュート) ・1対1 ・2対1 ・3対2 ・試合 ・学習カード ・一人一台端末の活用	【知識・技能】 ①味方が作り出した空間にパスを送ることができる。 ②空いた空間に向かってボールをコントロールして運ぶことができる。 ③守備者とボールの間に自分の体を入れて、味方と相手の動きを見ながらボールをキープすることができる。 【思考・判断・表現】 ①選択した運動について、チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。 ②体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに球技を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①仲間の課題を指摘するなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 ②危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保している。	○	○	○	合計 78

東京都立小石川中等教育学校 年間授業計画

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1 単位
 対象学年組：第 5 学年 A 組～ D 組
 教科担当者：（A組： ）（B組： ）（C組： ）（D組： ）
 使用教科書：（大修館書店 新高等 保健体育 ）
 教科 保健体育 の目標： 体育や保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成する

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能及び社会生活における健康・安全について理解するとともに技能を身に付けるようにする
 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝える力を養う
 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う

科目 保健 の目標： 保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成する

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、知識及び技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し合理的、計画的な解決に向けて思考し、判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	生涯を通じる健康（1～7） 【知識及び技能】 1：思春期になると、性ホルモンの働きにより心身に変化がおこることや、思春期に起こりやすい健康問題を防止するには、心身の状態を把握したり、自らの行動をコントロールしていくことが大切であることを理解できるようにする。 2：自分の行動への責任感や、性のあり方の理解と尊重の必要性や、性に関する意思決定・行動選択には性情報への適切な対処が必要であることを理解できるようにする。 3：夫婦や親子の良好な関係を築き、安定した結婚生活を送るために必要な要因についてや、夫婦や親子の良好な関係や安定した結婚生活がもたらす家族への健康影響について理解できるようにする。 4：受精から出産までの過程とそれに伴う健康課題についてや、母子の健康や安全を保つために、妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスについて理解できるようにする。 5：家族計画の意義とその重要性についてや、女性や子どもの健康を守るために、様々な要因を考慮しながら家族計画を立てる必要があることについて理解できるようにする。 6：加齢による心身の変化や高齢期の健康課題についてや、中高年期の健康に影響する若年期の具体的な生活習慣を理解できるようにする。 7：高齢社会における健康課題についてや、高齢者の暮らしや健康を支えるために必要な社会の取り組みについて理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 1：思春期における悩みや健康課題を発見し、その対策について考え、適切な方法を選択し、説明できるようにする。 2：思春期における性に関する意思決定・行動選択の課題を発見し、その対策について考え、適切な方法を選択し、説明できるようにする。 3：妊娠や出産、育児を含む結婚生活における健康課題を発見し、その対策について考え、適切な方法を選択し、説明できるようにする。 4：妊娠や出産の過程で起こり得る健康課題の対策について考え、適切な方法を選択し、説明できるようにする。 5：家族計画を立てる際に起こり得る課題を発見し、その対策について考え、適切な方法を選択し、説明できるようにする。 6：若者と高齢者が社会において交流し、お互いを理解する具体的な方法を考え、説明できるようにする。 7：高齢者の生活を支えるための取り組みについて、自分の住んでいる地域の状況を分析して課題を発見し、具体的対策を考え、説明することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じる健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	・指導事項 1. 思春期と健康 2. 性意識の変化と性行動の選択 3. 結婚生活と健康 4. 妊娠・出産と健康 5. 家族計画 6. 加齢と健康 7. 高齢社会に対応した取り組み ・指導内容 (ア)生涯の各段階における健康 生涯を通じる健康の保持増進や回復に己の健康管理及び環境づくりがかかわっていること。 ・教材 大修館 新高等保健体育 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康問題が生じることがあることや、思春期の心身の変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることについて、理解している。 ・結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から理解したことや、受精、妊娠、出産とそれにもなう健康課題について、理解している。 ・家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについて、理解している。 ・中高年期を健やかに過ごすためには、若いときから、健康診断の定期的な受診などの自己管理を行うこと、生きがいをもつこと、運動やスポーツに取り組みこと、家族や友人などとの良好な関係を保つこと、地域における交流をもつことが関係することや、高齢期には、加齢に伴い、心身の機能や形態が変化すること、その変化には個人差があること、疾病や事故のリスクが高まること、健康の回復が長期化する傾向にあることについて、理解している。 ・高齢社会では、認知症を含む疾病等への対処、事故の防止、生活の質の保持、介護などの必要性が高まることなどから、保健・医療・福祉の連携と総合的な対策が必要であることについて、理解している。 【思考・判断・表現】 ・生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・思春期や結婚生活、加齢と健康について、習得した知識を基に、1：心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するための情報、2：結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法、3：中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取り組みと社会的対策を整理したり評価している。 ・生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生涯の各段階における健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	13

	定期考査			○	○		1
2 学 期	生涯を通じる健康（8～10） 【知識及び技能】 8:働くことの意義と働き方の多様化についてや、働く人における健康問題について理解できるようにする。 9:労働による傷害や職業病などの作業形態や作業環境の変化に伴い質や量が変化してきたことや、労働災害を防止するには、労働環境の変化に起因する障害や職業病などを踏まえ適切な健康管理および安全管理をする必要があることを理解できるようにする。 10:働く人の健康の保持・増進は、職場の健康管理や安全管理とともに心身両面にわたる総合的、積極的な対策の推進が図られることによって成り立つことや、ストレスに対する気づきへの援助、リラクセーションの指導など、メンタルヘルスクエアが重要視されてきていることを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 8:働き方が多様化している現代における働く人の健康課題を説明できるようにする。 9:習得した知識をもとに、労働災害の防止に向けて、個人としての取り組みや組織としての取り組み、さらには社会的対策を整理することができるようにする。 10:働く人の健康の保持・増進について、習得した知識をもとに、余暇の意義や生活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決の方法に応用することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 働くことについて理解し、課題の解決の方法を思考しようとする。	・指導事項 8:働くことと健康 9:労働災害の防止 10:働く人の健康づくり ・指導内容 (イ)労働と健康 労働災害の防止には、労働環境の変化に起因する障害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理をする必要があること。 ・教材 大修館 新高等保健体育 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・労働による傷害や職業病などの労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い質や量が変化してきたことや、労働災害を防止するには、作業形態や作業環境の改善、長時間労働をはじめとする過重労働の防止を含む健康管理と安全管理が必要であることについて、理解している。 ・働く人の健康の保持増進や日常生活は、職場の健康管理や安全管理とともに、心身両面にわたる総合的、積極的な対策の推進が図られることで成り立つことや、積極的に余暇を活用するなどして生活の質の向上を図ることなどで健康の保持増進を図っていくことが重要であることについて、理解している。 【思考・判断・表現】 ・労働と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・働く人の健康の保持増進や労働災害と健康について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決の方法に応用したり、労働災害の防止に向けて、個人の取り組みと社会的対策を整理している。 ・労働と健康について、自他や社会の課題解決の方法とそれを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・労働災害と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	3
	健康を支える環境づくり（1～4） 【知識及び技能】 1:人間の生活や産業活動は、大気汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあるということについて理解できるようにする。 2:人間の生活や産業活動は、水質汚濁、土壌汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあるということについて理解できるようにする。 3:環境汚染による健康への影響を防ぐために行われている対策についてや、産業廃棄物の処理や新たな環境汚染の課題について理解できるようにする。 4:安全な水の確保のために必要な上下水道の整備の現状と課題についてや、生活環境を保全するためのごみ処理の現状と課題について理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 1:地球規模での大気汚染問題について、これまでの取り組みについて個人と社会での対策を分析したり、諸外国と比較したりして、大気汚染対策について評価できるようにする。 2:水質汚濁・土壌汚染問題は、被害が広がったり、長期間の汚染の蓄積が次世代に影響を及ぼすこともある。これに対して、これまでの取り組みについて個人と社会での対策を分析したり、諸外国と比較したりして、汚染対策について評価できるようにする。 3:環境汚染の防止とその対策に関するこれまで行われてきた取り組みについて、個人と社会での対策を分析したり、諸外国と比較して、汚染対策について評価できるようにする。また、今後対策とすることができることを示すことができるようにする。 4:環境汚染の防止とその対策に関わり、上下水道やごみ処理でこれまで行われてきた取り組みについて、個人と社会でどのような対策が行われてきたのか、また、諸外国と比較したりして、評価できるようにする。今後の対策について示すことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 環境について、課題の解決に向けた学習に自主的に取り組み、実践しようとする。	・指導事項 1. 大気汚染と健康 2. 水質汚濁・土壌汚染と健康 3. 健康被害を防ぐための環境対策 4. 環境衛生に関わる活動 ・指導内容 (ア)健康と環境 人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすことがあること。それらを防ぐには、汚染の防止及び改善の対策をとる必要があること。また、環境衛生活動は、学校や地域の環境を健康に適したものとするよう基準が設定され、それに基づき行われていること。 ・教材 大修館 新高等保健体育 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・人間の生活や産業活動は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあるということについて、理解している。 ・健康への影響や被害を防止するためには、汚染物質の排出をできるだけ抑制したり、排出された汚染物質を適切に処理することが必要であることや、環境基本法などの法律等が制定されており、環境基準の設定、排出物の規制、監視体制の整備などの総合的・計画的対策が講じられていることについて、理解している。 ・上下水道の整備、ごみやし尿などの廃棄物を適切に処理する等の環境衛生活動は、自然環境や学校・地域などの社会生活における環境、及び人々の健康を守るために行われていることについて、理解している。 【思考・判断・表現】 ・環境と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見したり、課題の解決方法とそれを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 ・人間の生活や産業活動によって引き起こされる自然環境汚染について、事例を通して整理し、疾病等のリスクを軽減するために、環境汚染の防止や改善の方策に応用している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・環境と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	8

3 学 期	健康を支える環境づくり（５～６） 【知識及び技能】 ５：人々の健康を支えるためには食品の安全性を確保することが重要であり健康の保持増進にとっても重要であることや、安全性が損なわれると、健康に深刻な被害をもたらすことがあることを理解できるようにする。 ６：食品の安全性を確保するための行政や生産・製造者の役割について、私たち消費者が果たす役割について理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ５：安全につくられた食品であっても健康被害が起きてしまうのはなぜか、食品の生産から製造・加工・保存・流通、消費、廃棄の各過程から防止策を考えることができるようにする。 ６：食品に示されている食品表示の内容から健康被害の防止に役立つ内容を抜き出し、保存方法やアレルギー物質などに分類することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 食品の安全性について理解し、課題の解決に向けた学習に自主的に取り組み、実践しようとする。	・指導事項 ５．食品の安全性と健康 ６．食品の安全性を確保する取り組み ・指導内容 (イ)食品と健康 食品の安全性を確保することは健康を保持増進する上で重要であること。また、食品衛生活動は、食品の安全性を確保するよう基準が設定され、それに基づき行われていること。 ・教材 大修館 新高等保健体育 ・一人１台端末の活用	【知識・技能】 ・人々の健康を支えるためには、食品の安全性を確保することが重要であり、食品の安全性が損なわれると、健康に深刻な被害をもたらすことがあり、食品の安全性を確保することは健康の保持増進にとって重要であることや、食品衛生法などの法律等が制定されており、様々な基準に基づいて食品衛生活動が行われていることや、食品の製造・加工・保存・流通など、各段階での適切な管理が重要であることについて、理解している。 ・食品衛生に関わる健康被害の防止と健康の保持増進には、適切に情報を公開、活用するなど行政・生産者・製造者・消費者などが互いに関係を保ちながら、それぞれの役割を果たすことが重要であることについて、理解している。 【思考・判断・表現】 ・食品と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見したり、課題の解決方法とそれを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 ・食品の安全性と食品衛生に関わる活動について、習得した知識を自他の日常生活に適用して、健康被害の防止と健康を保持増進するための計画を立てている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・食品と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
	健康を支える環境づくり（７～９） 【知識及び技能】 ７：人々の健康を支える保健行政の役割についてや、健康の保持増進には保健行政が提供している様々な保健サービスを活用していくことが必要であることを理解できるようにする。 ８：人々の健康を支える医療保険の仕組みについてや、医療機関はそれぞれの役割に応じて、人々の健康を守るための医療サービスを提供していることを理解できるようにする。 ９：医薬品は、医療用医薬品、要指導医薬品、一般医薬品の３つに大別され、販売が規制されており、承認制度によってその有効性や安全性が審査されていることについて理解できるようにする。また、疾病からの回復や悪化の防止には、個々の医薬品の特性に関する情報を理解した上で、使用法に関する注意を守り、正しく使うことが必要であることについて理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ７：地域の保健機関の活用について、関連した情報を整理し、生活の質の向上に向けた課題解決に応用できるようにする。 ８：医療サービスの適切な活用の仕方について、関連した情報を整理し、生活の質の向上に向けた課題解決に応用することができるようにする。 ９：医薬品の制度とその活用について、医薬品の承認制度や販売に関する規制が設けられていることと関連付けながら、生活の質の向上に向けた課題解決に応用できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 保健・医療・医薬品の制度を理解し、自分のまわりの人に目を向け実践しようとしている。	・指導事項 ７．保健制度とその活用 ８．医療制度とその活用 ９．医薬品の制度とその活用 ・指導内容 (ウ)保健・医療制度及び地域の保健・医療機関 生涯を通じて健康を保持増進するには、保健・医療制度や地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することが必要であること。また、医薬品は有効性や安全性が審査されており、販売には制限があること。疾病からの回復や悪化の防止には、医薬品を正しく使用することが有効であること ・教材 大修館 新高等保健体育 ・一人１台端末の活用	【知識・技能】 ・わが国には、人々の健康を支えるための保健・医療制度が存在し行政及びその他の機関などから健康に関する情報、医療の供給、医療費の保障も含めた保健・医療サービスなどが提供されていることについて理解している。 ・健康を保持増進するためには、検診などを通して自己の健康上の課題を的確に把握し、地域の保健所や保健センターなどの保健機関、病院や診療所などの医療機関、及び保健・医療サービスなどを適切に活用していくことが重要であることについて、理解している。 ・医薬品は、医療用医薬品、要指導医薬品、一般用医薬品の三つに大別され、承認制度によってその有効性や安全性が審査されており、販売に規制が設けられていることや、疾病からの回復や悪化の防止には、個々の医薬品の特性を理解した上で、使用法に関する注意を守り、正しく使うことが必要であることについて、理解している。 【思考・判断・表現】 ・保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見したり、課題の解決方法とそれを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 ・医薬品の制度とその活用について、医薬品には承認制度があり、販売に規制が設けられていることと関連付けながら、生活の質の向上のために利用の仕方を整理している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・保健・医療制度及び地域の保健、医療機関について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	健康を支える環境づくり（１０） 【知識及び技能】 １０：日本や世界では様々な健康課題があり、ヘルスプロモーションの理念に基づき、それらに対応した保健活動や対策が行われていることを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 １０：地球規模の健康課題の解決のために、国際機関や民間機関などによって行われている様々な対策について理解し、このような活動や対策を充実させるために自分は何ができるか、適切な情報を選択・収集して分析できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 健康課題に対する様々な取り組みがあることを理解し、自分ができることを考え貢献しようとする。	・指導事項 １０．様々な保健活動や対策 ・指導内容 (エ)様々な保健活動や社会的対策 我が国や世界では、健康課題に対して様々な保健活動や社会的対策などがおこなわれていること。 ・教材 大修館 新高等保健体育 ・一人１台端末の活用	【知識・技能】 ・わが国や世界では、健康を支えるために、健康課題に対して各種の保健活動や社会的対策が行われていることについて、理解している。 【思考・判断・表現】 ・様々な保健活動や社会的対策について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見したり、課題の解決方法とそれを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 ・地域の保健・医療機関やスポーツ施設の活用の仕方について、関連した情報を整理し、生活の質の向上に向けた課題解決に応用している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な保健活動や社会的対策について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	2
	健康を支える環境づくり（１１） 【知識及び技能】 １１：誰もが健康に過ごせる社会に向けた環境づくりには、ヘルスプロモーションの考え方に基づき、国や地域社会におけるすべての政策に健康の視点を組み込み、多様な人や組織が参加して進めることが大切であることを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 １１：誰もが健康に過ごせる社会に向けた環境づくりには、ヘルスプロモーションの考え方に基づいた健康に関する環境づくりへ積極的に参加していくことが大切であり自分は何ができるか、適切な情報を選択・収集して分析できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ヘルスプロモーションの考え方を理解し、誰もが健康に過ごせるようにするために積極的に働きかけていこうとする。	・指導事項 １１．誰もが健康に過ごせる社会に向けた環境づくり ・指導内容 (オ)健康に関する環境づくりと社会参加 自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方を生かした健康に関する環境づくりが重要であり、それに積極的に参加していくことが重要であること。また、それらを実現するには、適切な健康情報が有効であること。 ・教材 大修館 新高等保健体育 ・一人１台端末の活用	【知識・技能】 ・自他の健康を保持増進するためには、ヘルスプロモーションの考え方に基づいた健康に関する環境づくりが重要であることや、一人一人が健康に関心を持ち、健康を支える適切な環境づくりに積極的に参加していくことが重要であり、そのことが自分を含めた世界の人々の健康の保持増進につながるについて、理解している。 【思考・判断・表現】 ・自他の健康を保持増進するためにはヘルスプロモーションの考え方に基づいた健康に関する環境づくりへ積極的に参加していくために、適切な情報を選択・収集して、分析・評価し計画を立てている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・健康に関する環境づくりと社会参加について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	2
	定期考査			○	○		1
							39

東京都立小石川中等教育学校 年間授業計画

教科： 外国語 科目： 英語コミュニケーションⅡ 単位数： 3 単位
 対象学年組：第 5 学年 A 組～ D 組
 使用教科書： (Crossroads English Communication II (大修館書店))
 教科 外国語 の目標：

- 【知識及び技能】 外国語の知識を身に付け理解を深めるとともに、目的や場面、状況に応じて適切に活用できる技能を身に付ける。
 【思考力、判断力、表現力等】 目的や場面、状況に応じて、情報や考えを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりできるようになる。
 【学びに向かう力、人間性等】 外国語に対する理解を深め、主体的、自律的に外国語でコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付ける。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに 応じて、五つの領域の知識を有機的に組み合わせ、 実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能 を身に付ける。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに 応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、こ れらを論理的に適切な英語で表現できるようにな る。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに 応じて、間違えることを恐れず、五つの領域の能力 を駆使して積極的にコミュニケーションを図ろうと する態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 〔や〕	話 〔発〕	書					
1 学 期	Unit 1 A Practical Approach 1 中村哲医師の活動を通じて、支援 を必要としている人々に対する適切な 支援のあり方について理解し、考えを 深めることができる。 2 国際支援を行う団体がどのような 活動を行っているか調べ、意見を交換 する。	【トピック】 国際協力 【文法項目】 分詞構文 不定詞の意味上の主語 動名詞の意味上の主語	○	○	○	○	○	【知】 ① 【知識】文章を聞き取るために必要となる語彙 や表現、および対話やラジオニュースで用いら れる慣用的な表現の特徴やきまりを理解してい る。 【技能】対話やラジオニュースで用いられる表 現の特徴やきまりへの理解を基に、異文化理解	○	○	○	20
	定期考査		○	○			○		○	○		1
	Unit 2 Achieving Sustainability 1 衣服の消費や食品ロスについて理 解し、考えを深めることができる。 2 地球環境にやさしい生活様式につ いて調べ、意見を交換することができる。 ① ゆっくりはっきり話されるファス ファッション	【トピック】 環境問題 【文法項目】 付帯状況や理由を表すwith+名詞+状況 を表す語句 助動詞+have+過去分詞 部分否定	○	○	○	○	○	【知】 ① 【知識】文章を聞き取るために必要となる語彙 や相手の意見に反論する際の基本的な表現、お よび情報を列挙して説明する際に用いられる慣 用的な表現の特徴やきまりを理解している。 【技能】対話や発表で用いられる表現の特徴や きまりへの理解を基に、ファストファッション	○	○	○	20
	定期考査		○	○			○		○	○		1
2 学 期	Unit 3 Living with Animals 1 動物の権利について理解し、考え を深めることができる。 2 動物園の役割について調べ、意見 を交換することができる。 ① ゆっくりはっきり話される飼猫 についての親子の対話の展開や話し手	【トピック】 動物との関わり 【文法項目】 関係副詞の非制限用法 無生物主語構文 倒置	○	○	○	○	○	【知】 ① 【知識】文章を聞き取るために必要となる語彙 や、対話や会話で用いられる表現、および賛 成、反対の立場で意見を述べる際の表現を理解 している。 【技能】対話や会話で用いられる表現の特徴や きまりへの理解を基に、ペットについての対話	○	○	○	15
	定期考査		○	○			○		○	○		1
	Unit 4 The Power of Visual Expression 1 視覚芸術について理解し、考えを 深めることができる。 2 芸術が普段の生活にどのように影 響を及ぼしているか調べ、意見を交換 することができる。	【トピック】 芸術 【文法項目】 独立分詞構文 疑問詞+do you think～? 複合関係詞	○	○	○	○	○	【知】 ① 【知識】日常的な対話および人物を紹介するた めの発表の際に用いられる慣用的な表現の特徴 やきまりを理解している。 【技能】対話や発表で用いられる表現の特徴や きまりの理解を基に、手紙をテーマとした対話 や芸術家についての発表の内容を捉える技能を	○	○	○	15
	Unit 5 Challenging Stereotypes 1 性別による偏見や不平等について 理解し、考えを深めることができる。 2 どうすれば性別による偏見や不平 等を解消できるか調べ、意見を交換す ることができる。 ① はっきりとなじみのある発音で話	【トピック】 ジェンダー 【文法項目】 準否定語 仮定法表現 省略	○	○	○	○	○	【知】 ① 【知識】日常的話題の対話で自分の考えを表 す基本的な表現や、講義で用いられる表現の特 徴やきまり、割合を表す数値表現を理解してい る。 【技能】対話や講義で用いられる表現の特徴や きまりへの理解を基に、性別のイメージについ	○	○	○	13
	定期考査		○	○			○		○	○		1
	Unit 6 Making Choices 1 人間の行動に影響を及ぼす事柄に ついて理解し、考えを深めることがで きる。 2 人間の意思決定に影響を及ぼす要 因について調べ、意見を交換すること ができる。	【トピック】 行動心理学 【文法項目】 独立不定詞 完了形の不定詞・動名詞 関係代名詞と前置詞の表現	○	○	○	○	○	【知】 ① 【知識】意思や予定を表す基本的な表現や、ラ ジオの悩み相談番組で用いられる助言や提案の 表現の特徴やきまりを理解している。 【技能】対話やラジオ番組で用いられる表現の 特徴やきまりへの理解を基に、新車購入に関す る夫婦の対話や勉強へのモチベーションに関す	○	○	○	15
3 学 期	Unit 7 The Culture of Fireworks 1 花火の文化的な背景について理解 し、考えを深めることができる。 2 異なる人々を結びつける文化の力 について調べ、意見を交換することが できる。 ① はっきりとなじみのある発音で話	【トピック】 戦争・平和 【文法項目】 比較級を使ったいろいろな表現 未来完了形 要求・提案・必要・重要などを表す that節	○	○	○	○	○	【知】 ① 【知識】驚きや感嘆を表す基本的な表現や、歴 史的な内容の発表で用いられる表現の特徴やき まりを理解している。 【技能】驚きや感嘆を表す基本的な表現や、歴 史的な内容の発表で用いられる表現の特徴やき まりへの理解を基に、花火についての会話や東	○	○	○	14
	定期考査		○	○			○		○	○		1

東京都立小石川中等教育学校 年間授業計画

教科： 外国語 科目： 論理・表現Ⅱ 単位数： 2 単位
 対象学年組：第 5 学年 A 組～ D 組
 使用教科書： (FACTBOOK English Logic and Expression II (桐原書店))
 教科 外国語 の目標：

- 【知識及び技能】 外国語の知識を身に付け理解を深めるとともに、目的や場面、状況に応じて適切に活用できる技能を身に付ける。
 【思考力、判断力、表現力等】 目的や場面、状況に応じて、情報や考えを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりできるようになる。
 【学びに向かう力、人間性等】 外国語に対する理解を深め、主体的、自律的に外国語でコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付ける。

科目 論理・表現Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常的な話題や社会的な話題について、目的や場面、状況などに応じた論理構成・展開ができ、情報や考えなどを効果的に伝えるための知識・技能を身に付ける。	日常的な話題や社会的な話題について、情報を整理しながら考えなどを形成し、話したり書いたりして、要点や意図を明確にしながら情報や考えを適切に表現できるようになる。	日常的な話題や社会的な話題について、学習した内容を踏まえて、間違えることを恐れず、さまざまな語句や表現を使って自分の考えを積極的に書いたり話したりすることができるようになる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 (「や」)	話 (「発」)	書					
1 学 期	Unit 1 How should we lead a healthy lifestyle? ・人々が抱える健康の問題や健康のための習慣について議論することができる。 ・健康の問題や健康のための習慣について長めの意見を述べることができ	【文法項目】 文型の拡張： 主語の拡張 【トピック】 健康・ライフスタイル 【談話方略】 相手も知っていると思われる情報を伝える			○	○	○	【知】 主語になるもの (FACT A) を理解し、適切に使うことができる。 どこまでが主語なのか (FACT B) を理解し、適切に使うことができる。 無生物主語 (FACT C) を理解し、適切に使うことができる。 【思】	○	○	○	6
	Unit 2 Steps we can take to Zero Hunger ・飢餓を解決する方法について聞いた情報をもとに説明することができる。 ・飢餓を解決する方法について議論することができる。 ・飢餓支援の事例を紹介する校内新聞	【文法項目】 文型の拡張： 目的語・説明語句の拡張 【トピック】 貧困・飢餓 【談話方略】 目上の相手に丁寧に聞き返す 関連した話題に転換する			○	○	○	【知】 目的語の拡張 (FACT A) を理解し、適切に使うことができる。 説明語句 (補語) の拡張 (説明型) (FACT B) を理解し、適切に使うことができる。 説明語句 (補語) の拡張 (目的語説明型) (FACT C) を理解し、適切に使うことができる。	○	○	○	6
	定期考査						○		○	○		1
	Unit 3 What are good and bad sides of urbanization? ・大都市で起きている問題について議論することができる。 ・大都市で起きている問題について長めの意見を述べることができる。 ・都市化が及ぼす影響について意見文	【文法項目】 修飾による拡張： 名詞の説明 【トピック】 都市化の問題 【談話方略】 特に焦点を当てて説明する 相手の発言をやわらかく否定する			○	○	○	【知】 名詞の説明① (前置詞句・分詞・to不定詞) (FACT A) を理解し、適切に使うことができる。 名詞の説明② (節) (FACT B) を理解し、適切に使うことができる。 【思】 大都市で起きている問題について議論すること	○	○	○	6
	Unit 4 Is your city sustainable enough? ・都市問題について聞いた情報をもとに説明することができる。 ・都市問題を解決する方法について議論することができる。 ・自分の住む地域の自治体に要望書を	【文法項目】 修飾による拡張： 動詞句の説明、文の説明 【トピック】 持続可能な都市 【談話方略】 久しぶりに会った相手に言葉をかける 話題にさらに論点を加える			○	○	○	【知】 動詞句の説明 (FACT A) を理解し、適切に使うことができる。 文の説明 (FACT B) を理解し、適切に使うことができる。 レポート文 (FACT C) を理解し、適切に使うことができる。 【思】	○	○	○	6
	定期考査								○	○		1

2 学 期	Unit 5 Which should get more priority: culture or the environment? ・野生生物保護公園の成功事例について議論することができる。 ・野生生物保護公園の成功事例について長めの意見を述べることができる。	【文法項目】 時を表す表現 【トピック】 環境保護と文化 【談話方略】 新しい話題を切り出す 発言の意図や感情とともに情報を伝える						○	○	○	【知】 進行形が表す意味 (FACT A) を理解し、適切に使うことができる。 完了形のバリエーション (FACT B) を理解し、適切に使うことができる。 時制の一致 (FACT C) を理解し、適切に使うことができる。 【思】	○	○	○	9
	Unit 6 How to live a plastic-free life ・プラスチックパッケージの代替素材について聞いた情報をもとに説明することができる。 ・プラスチックパッケージの代替素材について議論することができる。	【文法項目】 受動態 【トピック】 プラスチックごみ問題 【談話方略】 不思議に思っていることを伝える 相手の意見への強い同意を伝える						○	○	○	【知】 受動態はいつ使うのか (FACT A) を理解し、適切に使うことができる。 注意すべき受動態 (FACT B) を理解し、適切に使うことができる。 受動態のバリエーション (FACT C) を理解し、適切に使うことができる。 【思】	○	○	○	9
	定期考査											○	○		1
	Unit 7 Helping others at home and abroad ・NGOの活動について情報を共有しながら議論することができる。 ・NGOの活動について長めの意見を述べる ことができる。 ・海外の国際機関で働きたいかどうか	【文法項目】 助動詞および仮定法 【トピック】 NGO活動と共生 【談話方略】 目上の相手から話を聞き出す 自分の率直な思いを伝える						○	○	○	【知】 助動詞を使ったさまざまな表現 (FACT A) を理解し、適切に使うことができる。 仮定法の作り方 (FACT B) を理解し、適切に使うことができる。 仮定法が使われる重要表現 (FACT C) を理解し、適切に使うことができる。 【思】	○	○	○	7
	Unit 8 Challenges to equality ・ジェンダー平等について聞いた情報をもとに説明することができる。 ・女性のクオータ制が必要かどうかについて議論することができる。 ・海外の大学への志望理由書を書くことができる。	【文法項目】 比較 【トピック】 ジェンダー平等 【談話方略】 言いにくいことを切り出す 相手に尋ねづらい質問を切り出す						○	○	○	【知】 原級を用いた表現 (FACT A) を理解し、適切に使うことができる。 比較級を用いた表現 (FACT B) を理解し、適切に使うことができる。 最上級を用いた表現など (FACT C) を理解し、適切に使うことができる。 【思】	○	○	○	7
	定期考査											○	○		1
3 学 期	Unit 9 Produce locally, consume locally ・地産地消の利点について議論することができる。 ・地産地消の利点について長めの意見を述べる ことができる。 ・地産地消について意見文を書くこと	【文法項目】 強調・倒置・省略・語法など 【トピック】 地産地消 【談話方略】 相手の発言に羨望の気持ちを伝える 相手の言ったことに同意する						○	○	○	【知】 強調 (FACT A) を理解し、適切に使うことができる。 倒置 (FACT B) を理解し、適切に使うことができる。 代用・省略・同格・挿入 (FACT C) を理解し、適切に使うことができる。 語法 (FACT D) を理解し、適切に使うこと	○	○	○	11
	Unit 10 Sharing as one way to create new value ・シェアリングエコノミーについて聞いた情報をもとに説明することができる。 ・シェアリングエコノミーについて事例をもとに議論することができる。	【文法項目】 否定 【トピック】 シェアリングエコノミー 【談話方略】 相手の所有物に言及し、話題のきつかけを示す 発言内容の有効性を限定する						○	○	○	【知】 否定文の作り方・語句の否定 (FACT A) を理解し、適切に使うことができる。 部分否定 (FACT B) を理解し、適切に使うことができる。 否定を表す重要表現 (FACT C) を理解し、適切に使うことができる。 not以外の否定語・準否定語 (FACT D) を理解	○	○	○	11
	定期考査											○	○		1
															合計
															83

東京都立小石川中等教育学校 年間授業計画

教 科： 家庭科 科 目： 家庭基礎 単位数： 2 単位

対象学年組：第 5 学年 A 組～ D 組

使用教科書： (7実教 家基705 家庭基礎 築く力 築く未来)

教科	家庭科	の目標：
【知識及び技能】	人の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭・社会との関わり、衣食住、消費や環境などについて、理解・技能の修得に努めさせる。	
【思考力、判断力、表現力等】	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見だし、生涯を見通して生活課題を解決する能力を養う。	
【学びに向かう力、人間性等】	さまざまな人々と協働し、自分や家族、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的態度を養う。	

科目 家庭基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人に一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて生活を主体的に五トンむために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらにかかわる技能を身につけるようにする。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見だし、課題の設定・解決策の構想、実践の評価改善、考察に基づく理論的表現など、生涯を見通し課題を解決する力を養う。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	青年期の自立と家族。家庭 【知識及び技能】 青年期の課題を理解し、家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題について理解を深める 【思考力、判断力、表現力等】 自己の意思決定にも届き責任を持って行動することや家族の一員としての役割を果たすことの重要性について問題を見だし、解決する力をつける 【学びに向かう力、人間性等】 青年期の自立と家族・家庭について、課題解決に取り組み、生活の充実向上を図るために実践する	・指導事項：ライフステージと発達課題 生活設計 自立と共生 ライフキャリア 家族に関する法律 ・教材：教科書、資料集、プリントなど ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 単元の知識を生かして活用できるか 【思考・判断・表現】 単元の内容の重要性を自らで思考・判断・表現できるか 【主体的に学習に取り組む態度】 単元の内容を積極的に議論し日常に活かす学習に向かう態度が高まっているか	○	○	○	4
	生活における経済の計画 【知識及び技能】 家計の構造や生活における経済と社会とのかわり、家計管理について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 生活における経済の管理や計画の重要性について問題を見だし、課題を解決する力をつける 【学びに向かう力、人間性等】 生活における経済の計画について課題の解決に取り組み生活の充実向上を図るために実践する	・指導事項：家計と経済の関わり 生活に必要な費用と管理 現在の家計の傾向 ・教材：教科書、資料集、プリントなど ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 単元の知識を生かして活用できるか 【思考・判断・表現】 単元の内容の重要性を自らで思考・判断・表現できるか 【主体的に学習に取り組む態度】 単元の内容を積極的に議論し日常に活かす学習に向かう態度が高まっているか	○	○	○	4
	消費行動と意思決定 【知識及び技能】 消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう、消費性格の現状と課題・消費行動における意思決定や契約の重要性・消費者保護のしくみについて理解し、生活情報を適切に収集・整理できる 【思考力、判断力、表現力等】 自立した消費者として生活情報を活用し責任ある消費について問題を見だし解決する力をつける 【学びに向かう力、人間性等】 消費行動と意思決定について課題の解決に取り組み、生活の充実向上を図るために実践する	・指導事項：消費生活の現状と課題 ・教材：教科書、資料集、プリントなど ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 単元の知識を生かして活用できるか 【思考・判断・表現】 単元の内容の重要性を自らで思考・判断・表現できるか 【主体的に学習に取り組む態度】 単元の内容を積極的に議論し日常に活かす学習に向かう態度が高まっているか	○	○	○	4
	衣生活と健康 【知識及び技能】 被服の機能と着装について理解し、健康で快適な衣生活の情報収集や整理力をつける。被服材料・被服構成・被服衛生について理解し、被服計画・管理に必要な技能を習得する 【思考力、判断力、表現力等】 被服の機能性や快適性について問題を見だし課題解決する力を身につける 【学びに向かう力、人間性等】 衣生活と健康について、課題解決に取り組む生活の充実向上を図るために実践する	・指導事項：人と衣服の関わり 衣服素材の種類と特徴 衣服管理 衣服構成と実習 ・教材：教科書、資料集、プリントなど ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 単元の知識を生かして活用できるか 【思考・判断・表現】 単元の内容の重要性を自らで思考・判断・表現できるか 【主体的に学習に取り組む態度】 単元の内容を積極的に議論し日常に活かす学習に向かう態度が高まっているか	○	○	○	10
	ホームプロジェクト 【知識及び技能】 ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動の意義と実践方法の理解 【思考力、判断力、表現力等】 自己の家庭生活や地域の生活と関連付け、生活上の問題を見だし課題解決に取り組む 【学びに向かう力、人間性等】 ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について、課題解決及び生活の充実向上を図るように実践する	・指導事項：ホームプロジェクトとは 学校家庭クラブ活動とは ・教材：教科書、資料集、プリントなど ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 単元の知識を生かして活用できるか 【思考・判断・表現】 単元の内容の重要性を自らで思考・判断・表現できるか 【主体的に学習に取り組む態度】 単元の内容を積極的に議論し日常に活かす学習に向かう態度が高まっているか	○	○	○	4
	定期考査			○	○	○	1

小石川中等教育学校 年間授業計画

教科：課題研究

科目：小石川フィロソフィーV

単位数：2単位

対象学年組：第5学年 A組～D組

使用教科書：なし

総合的な学習の時間の目標：

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、目的や根拠を明らかにしながら課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。

【思考力、判断力、表現力等】国際的な視点で実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、根拠を明らかにしてまとめ・表現することができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に国際社会に参画しようとする態度を養う。

小石川フィロソフィーVの目標：

実社会や実生活の中の様々な事象に関わり、探究的な学習の過程を通して課題を解決するために必要な資質・能力である「課題発見力」「継続的实践力」「創造的思考力」を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
探究的な学習の過程を通して、課題を発見し、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるようにする。	実社会や実生活の中の様々な事象を、多角的、複合的に捉え、課題を解決するための基本的な力を養うとともに、創造的な力を高める。	探究的な学習の過程を通して、様々な事象や課題に知的好奇心をもって向き合い、粘り強く考え行動し、課題の解決に向けて挑戦しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1学期	A 探究活動の意義と課題の発見 【知識及び技能】 探究の意義を理解しようとするとともに、課題の発見に関する技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 課題を設定するための基礎的な力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 探究的な学習の過程を通して、様々な事象や課題に知的好奇心をもって向き合い、粘り強く考え行動し、課題の解決に向けて挑戦しようとする態度を養う。	・指導事項 全体ガイダンス 課題研究活動（課題発見） ・教材 小石川ノート	【知識・技能】 探究の意義について理解している。 【思考・判断・表現】 課題を設定するための基礎的な力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な事象や課題に知的好奇心をもって向き合い、粘り強く考え行動し、課題の解決に向けて挑戦しようとしている。	○	○	○	14
2学期	B 課題研究 【知識及び技能】 探究の過程を理解しようとするとともに、事象を分析するための基本的な技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】	・指導事項 課題研究活動（課題発見） ・教材 小石川ノート	【知識・技能】 探究の過程について理解し、事象を分析するための基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 課題を多角的、複合的に捉え、課題を解決するための基本的な力を身に付け	○	○	○	15

[illegible]